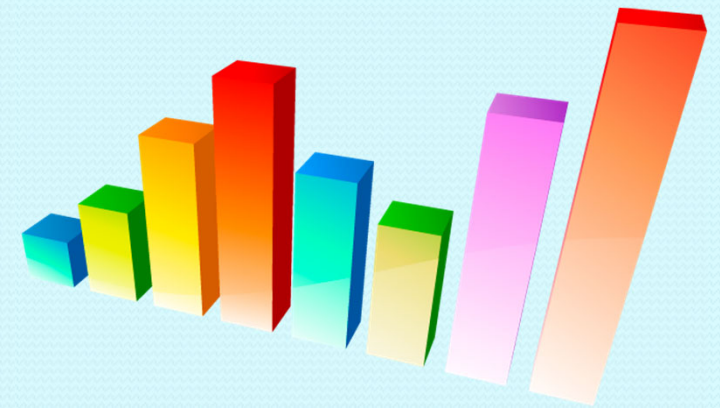


2021年1-3月期の産業活動

コロナ禍による急落からの回復により、鉱工業生産は3期連続上昇。一方、第3次産業活動が3期ぶりの低下。両産業合わせると3期ぶりの低下。持ち直しているものの、一部に足踏みがみられる産業活動



経済産業省
経済解析室

2021年5月

本稿における留意事項

四半期別伸び率寄与度は、特記しない限り前期比伸び率に対する寄与度である。なお、個々の系列毎に季節調整を行っているため、内訳の寄与度の積み上げと全体の伸び率は一致しないことがある。

目次

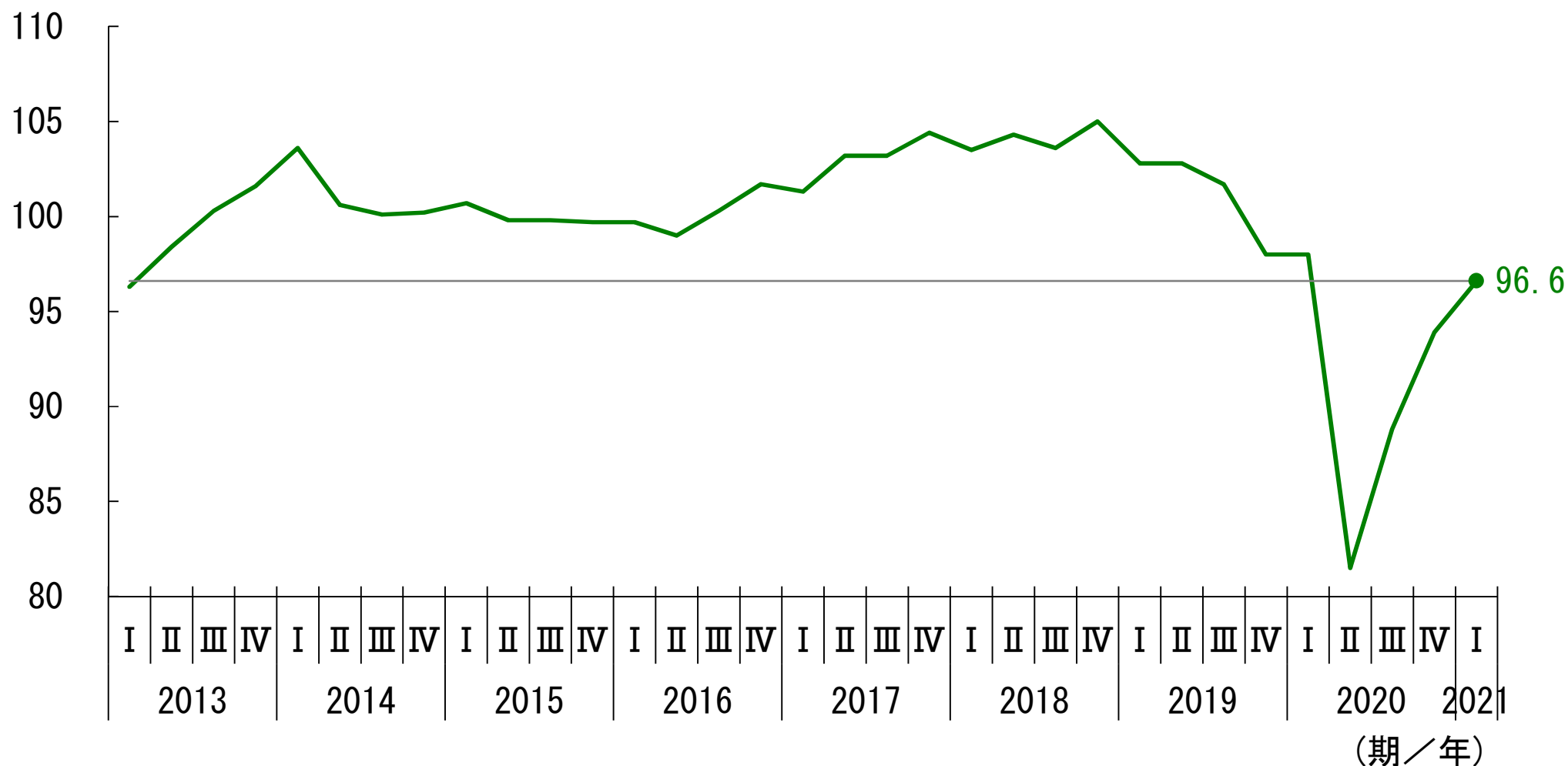
概況	・ ・ ・ ・ ・	1 ページ
鉱工業活動の動向	・ ・ ・ ・ ・	6 ページ
第 3 次産業活動の動向	・ ・ ・ ・ ・	2 6 ページ

概況

鋳工業生産指数の動向

・ 2021年1-3月期の鋳工業生産指数は96.6（前期比2.9%）と3期連続の上昇。

（2015年＝100、季節調整済）

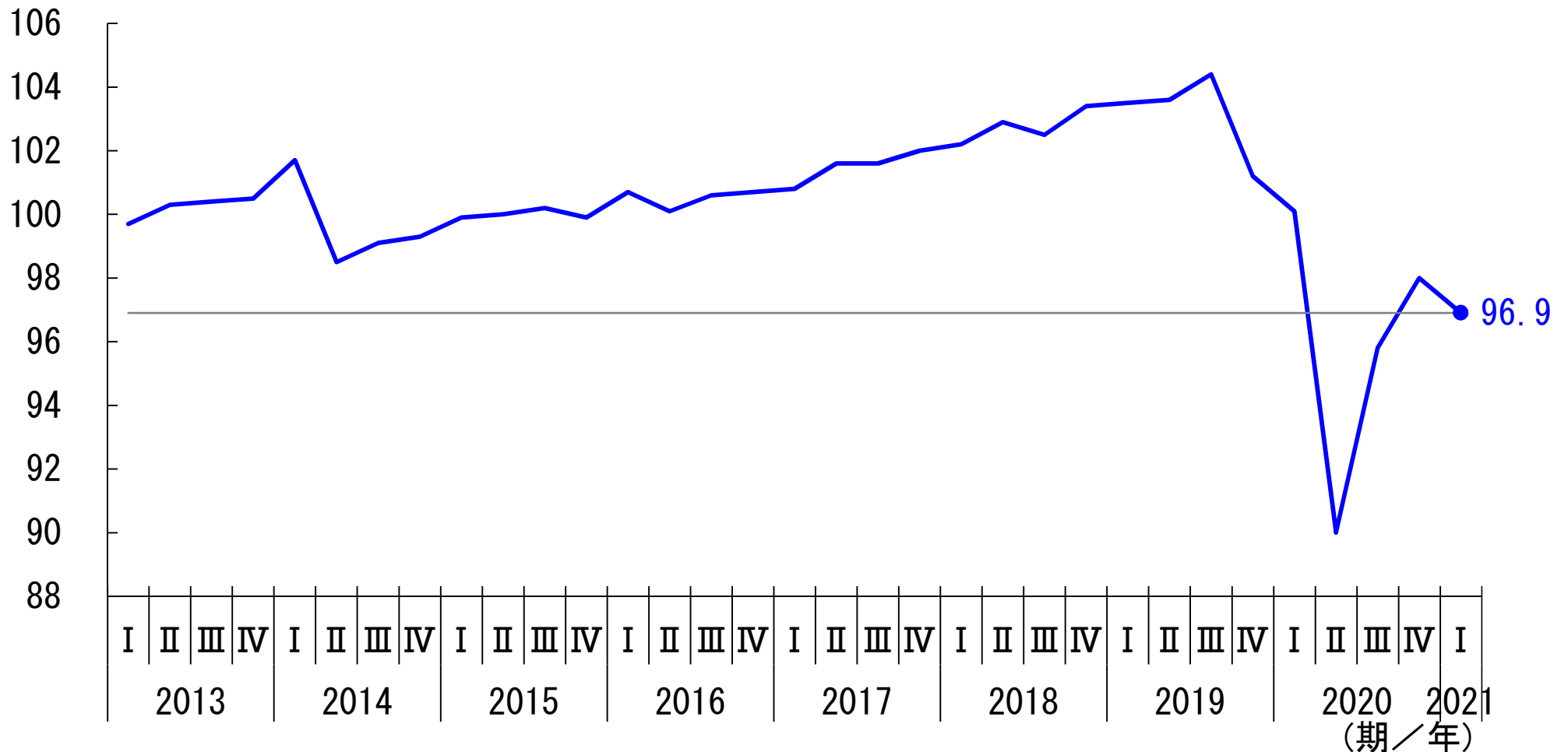


（資料）経済産業省「鋳工業指数」より作成。

第3次産業活動指数の動向

・ 2021年1-3月期の第3次産業活動指数は、96.9(前期比-1.1%)と3期ぶりの低下。

(2015年=100、季節調整済)



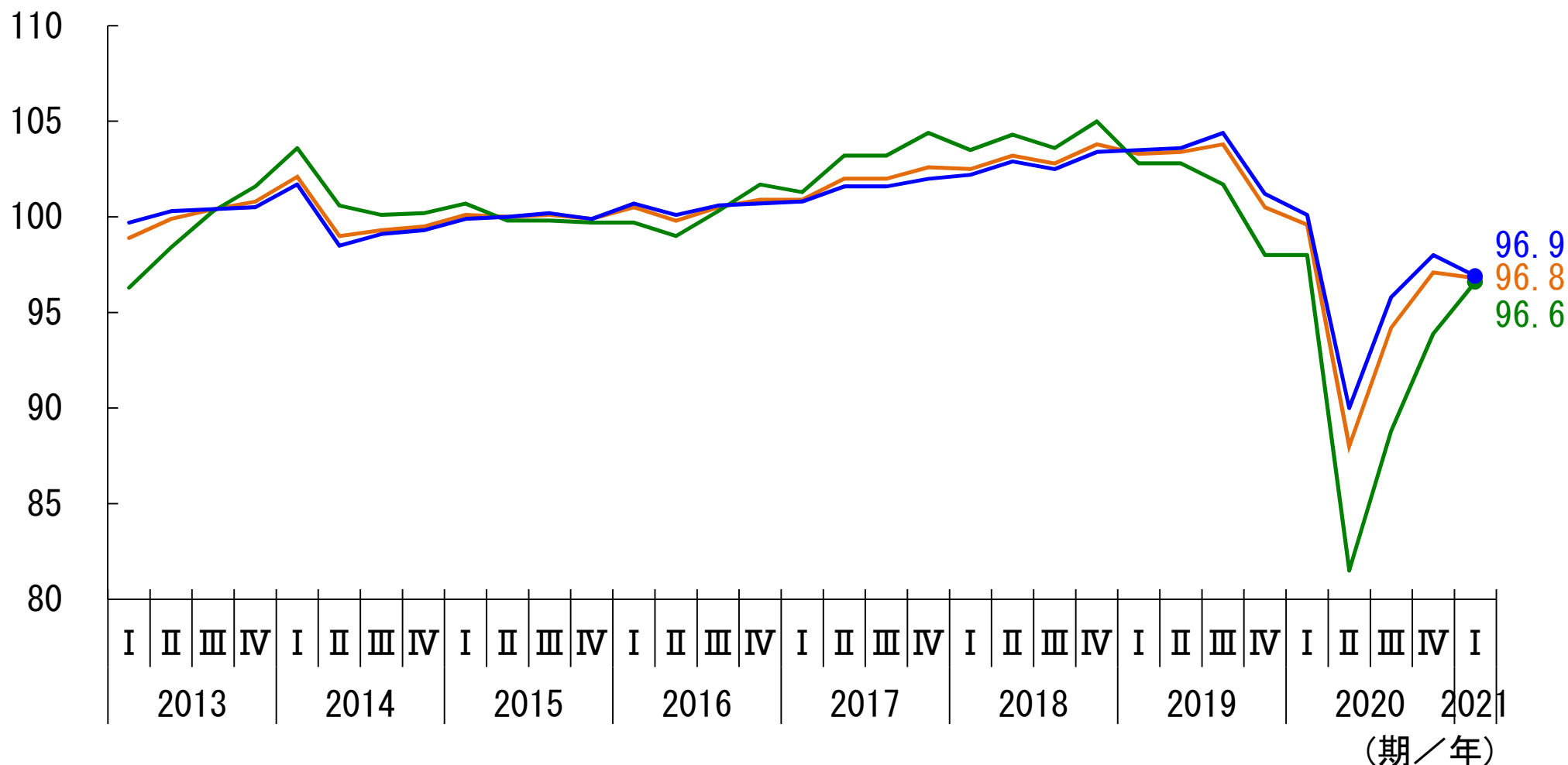
(資料)経済産業省「第3次産業活動指数」より作成。

鋁工業及び第3次産業の統合指数

・ 2021年1-3月期の統合指数は96.8(前期比-0.3%)と3期ぶりの低下。

(2015年=100、季節調整済)

— 統合指数 — 鋁工業生産指数 — 第3次産業活動指数



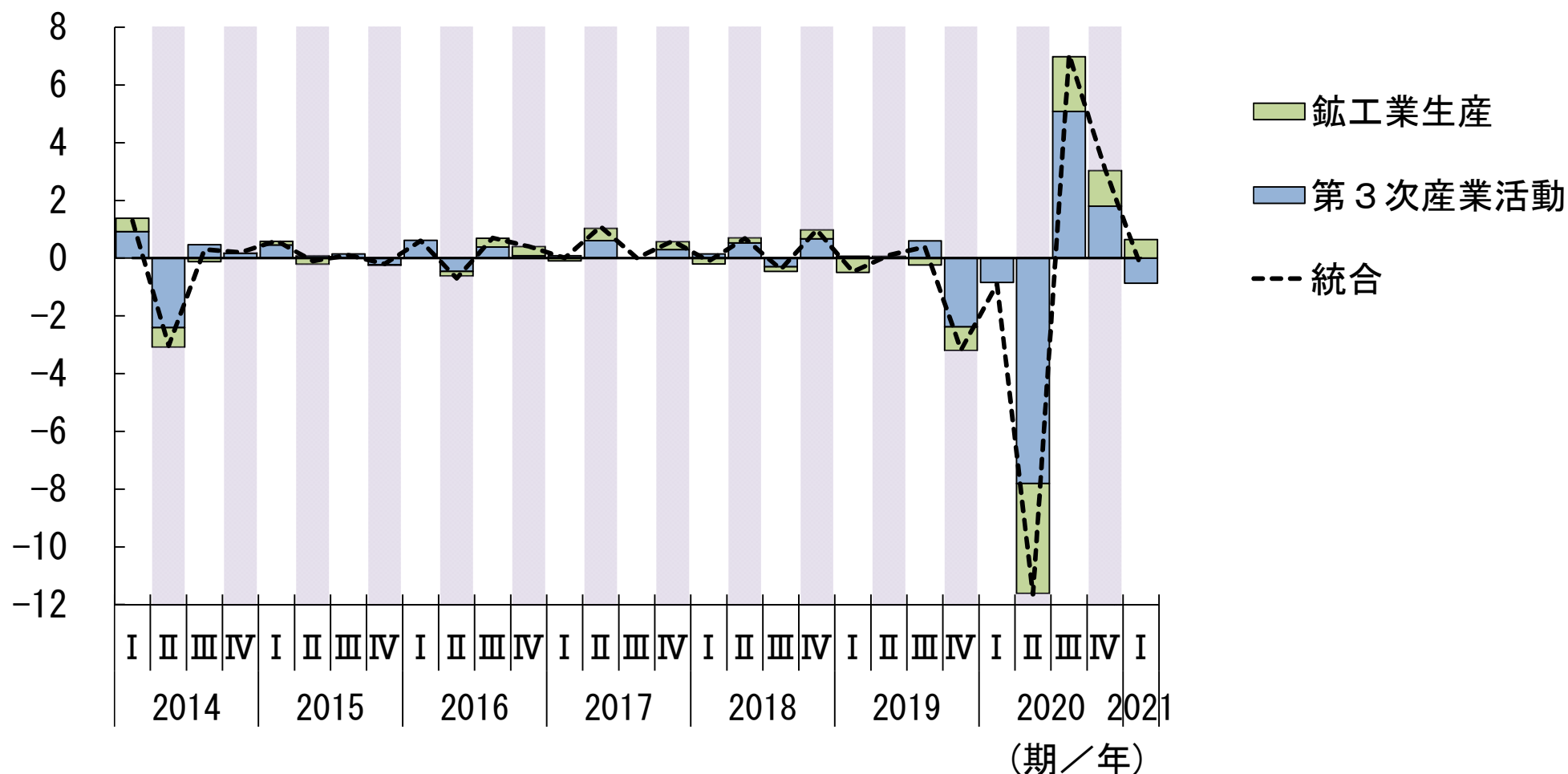
(注) 統合指数については、鋁工業生産指数と第3次産業活動指数を、試算した両者のウェイトを用いて加重平均し算出した試算値。

(資料) 経済産業省「鋁工業指数」、「第3次産業活動指数」より作成。

統合指数前期比 産業活動別の影響度合い

- 2021年1-3月期の統合指数は鉱工業生産が上昇したものの、第3次産業活動が低下したため、前期比-0.3%の低下。

(季節調整済、前期比、%、%ポイント)



(資料)経済産業省「鉱工業指数」、「第3次産業活動指数」より作成。

鋁工業活動の動向

2021年1-3月期の鉱工業指数の状況

四半期	生 産	出 荷	在 庫	在 庫 率
季調済指数	96.6	94.9	94.8	109.5
前期比	2.9%	2.0%	-1.3%	-4.5%
指数水準	2020 I 98.0以来 I 2018IV 105.0 II 2017IV 104.4 III 2018 II 104.3	2020 I 96.8以来 I 2014 I 104.5 II 2018 II 103.6 III 2018IV 103.4	2015年基準最低水準 ①2021 I 94.8 ②2014 I 95.3 ③2020IV 96.0	2019III 109.3以来 ①2014 I 91.4 ②2013IV 92.3 ③2013III 94.3
前期比の動き	3期連続＋ (2020III～当期)	3期連続＋ (2020III～当期)	4期連続－ (2020II～当期)	3期連続－ (2020III～当期)
前期比幅	2020IV 5.7%以来 I 2020III 9.0% II 2020IV 5.7% III 2021 I 2.9%	2020IV 5.9%以来 I 2020III 9.2% II 2020IV 5.9% III 2013 II, 2021 I 2.0%	2020IV -1.6%以来 ①2020 II -4.1% ②2020III -3.2% ③2016IV -3.0%	2020IV -7.6%以来 ①2020III -12.7% ②2020IV -7.6% ③2021 I -4.5%
原指数	96.6	95.6	91.7	110.1
前年同期比	-1.0%	-1.4%	-9.8%	-6.4%
前年同期比の動き	9期連続－ (2019 I～当期)	9期連続－ (2019 I～当期)	4期連続－ (2020 II～当期)	2期連続－ (2020IV～当期)
前年同期比幅	2020IV -3.5%以来 ①2020 II -20.3% ②2020III -13.0% ③2019IV -6.8%	2020IV -3.5%以来 ①2020 II -20.3% ②2020III -13.5% ③2019IV -6.5%	2015年基準最低水準 ①2021 I -9.8% ②2020IV -8.4% ③2020III -5.7%	2014 I -9.2%以来 ①2014 I -9.2% ②2021 I -6.4% ③2017 II -2.5%

1) I～IIIは2015年基準における最大値から上位3位まで、①～③は最小値から下位3位までの数値

2021年1～3月期の鉱工業出荷内訳表各指数の状況

出荷・輸出・国内指数

四半期	出 荷	輸 出	国 内
季調済指数	95.1	98.2	93.9
前期比	2.3%	3.2%	2.0%
指数水準	2020 I 96.8以来 I 2014 I 104.5 II 2018 II 103.6 III 2018 IV 103.4	2019 IV 98.4以来 I 2018 II 108.8 II 2017 IV, 2018 I 106.7 III 2018 III, IV 106.2	2020 I 96.5以来 I 2014 I 106.3 II 2013 IV 104.0 III 2018 IV 102.8
前期比の動き	3期連続＋ (2020 III～当期)	3期連続＋ (2020 III～当期)	3期連続＋ (2020 III～当期)
前期比幅	2020 IV 5.9%以来 I 2020 III 9.2% II 2020 IV 5.9% III 2021 I 2.3%	2020 IV 12.5%以来 I 2020 III 13.6% II 2020 IV 12.5% III 2016 IV 4.9%	2020 IV 3.5%以来 I 2020 III 8.3% II 2020 IV 3.5% III 2014 I 2.2%

1) I～IIIは2015年基準における最大値から上位3位までの数値

2021年1～3月期の鉱工業総供給表各指数の状況

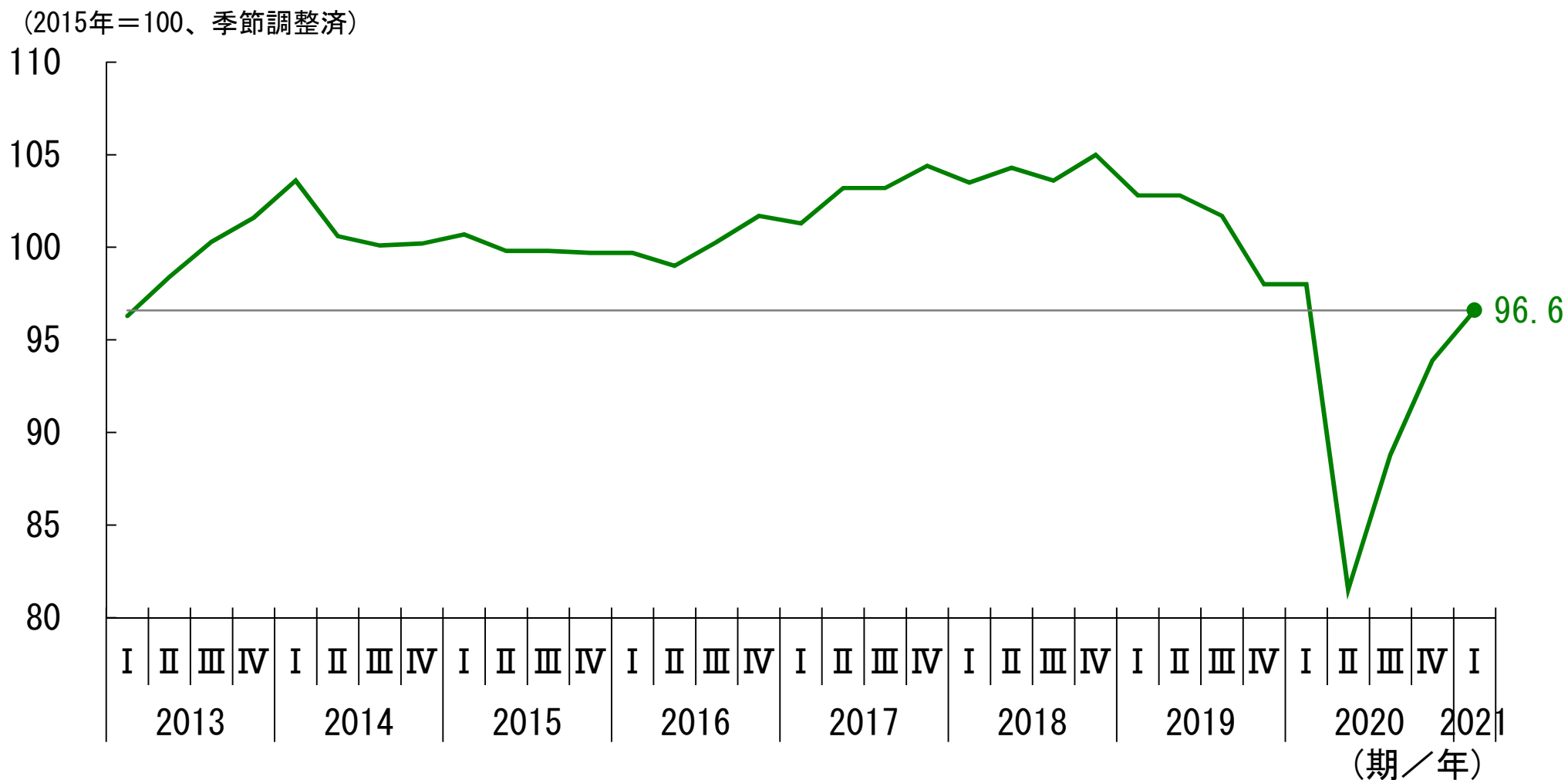
総供給・国産・輸入指数

四半期	総 供 給	国 産	輸 入
季調済指数	95.1	94.0	99.7
前期比	3.5%	2.0%	8.5%
指数水準	2020 I 95.5以来 I 2014 I 105.8 II 2013 IV 104.2 III 2018 IV 103.4	2020 I 96.6以来 I 2014 I 106.2 II 2013 IV 103.9 III 2018 II, IV 102.7	2019 III 100.5以来 I 2014 I 105.2 II 2013 IV 104.2 III 2018 IV 103.7
前期比の動き	3期連続＋ (2020 III～当期)	3期連続＋ (2020 III～当期)	2期連続＋ (2020 IV～当期)
前期比幅	2020 III 4.7%以来 I 2020 III 4.7% II 2021 I 3.5% III 2020 IV 2.9%	2020 IV 3.6%以来 I 2020 III 8.1% II 2020 IV 3.6% III 2014 I 2.2%	2015年基準最高水準 I 2021 I 8.5% II 2013 IV 3.9% III 2017 IV 2.9%

1) I～IIIは2015年基準における最大値から上位3位までの数値

鋳工業生産指数の動向（再掲）

・ 2021年1-3月期の鋳工業生産指数は96.6（前期比2.9%）と3期連続の上昇。

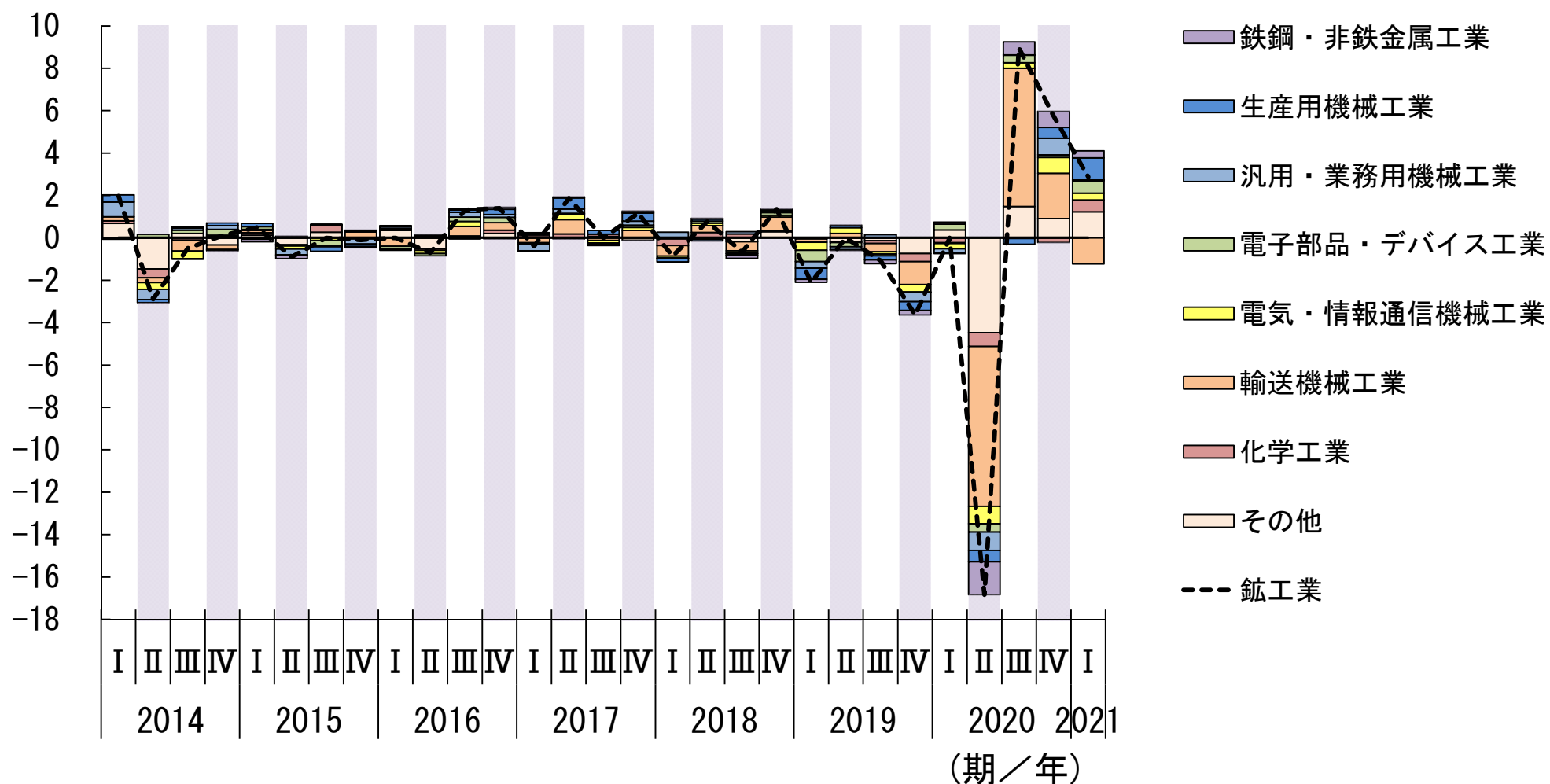


(資料) 経済産業省「鋳工業指数」より作成。

鉱工業生産指数前期比 業種別の影響度合い

- 2021年1-3月期の生産指数は輸送機械工業が低下したものの、生産用機械工業などが上昇したため、前期比2.9%の上昇。

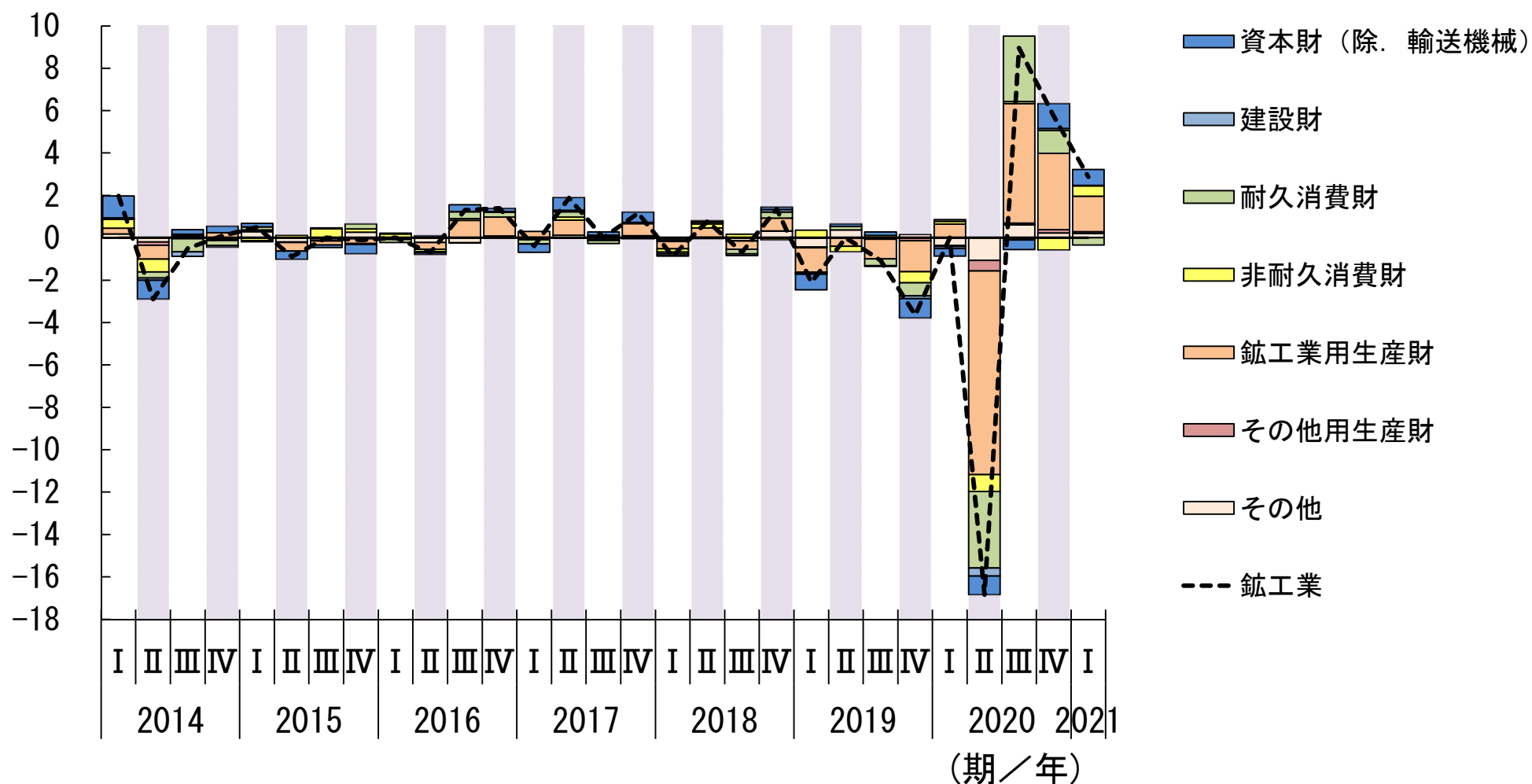
(季節調整済、前期比、%、%ポイント)



(資料)経済産業省「鉱工業指数」より作成。

- 2021年1-3月期の財別の生産指数は耐久消費財が低下したものの、鉱工業用生産財などが上昇。

(季節調整済、前期比、%、%ポイント)



(資料) 経済産業省「鉱工業指数」より作成。

2021年1-3月期の鉱工業生産指数を大きく動かした品目(全体・業種別)

<全体>

		品目名	前期比(%)	寄与率(%)
鉱工業生産を上昇方向 に引っ張った3品目	1位	半導体・フラットパネルディスプレイ製造装置	17.5	13.1
	2位	その他の生産用機械	20.8	9.6
	3位	酒類	8.6	8.9
鉱工業生産を低下方向 に引っ張った3品目	1位	乗用車	-6.9	-19.6
	2位	ボイラ・原動機	-23.0	-8.6
	3位	航空機部品	-33.7	-8.0

<業種別>

		業種・品目名	前期比(%)	寄与率(%)
鉱工業生産を上昇方向へ 引っ張った3業種の中で 上昇への影響度が大きい 2品目	1位の業種	生産用機械工業	14.2	35.9
	品目	半導体・フラットパネルディスプレイ製造装置	17.5	13.1
		その他の生産用機械	20.8	9.6
	2位の業種	電子部品・デバイス工業	9.6	20.2
	品目	電子デバイス	24.2	6.5
		電子部品	10.3	5.6
鉱工業生産を低下方向へ 引っ張った3業種の中で 低下への影響度が大きい 2品目	3位の業種	鉄鋼・非鉄金属工業	5.5	11.3
	品目	熱間圧延鋼材	7.0	2.8
		鉄鋼粗製品	6.7	2.2
	1位の業種	自動車工業	-4.7	-27.5
	品目	乗用車	-6.9	-19.6
		車体・自動車部品	-2.9	-6.8
	2位の業種	輸送機械工業(除. 自動車工業)	-10.6	-7.7
	品目	航空機部品	-33.7	-8.0
	3位の業種	石油・石炭製品工業	-3.8	-1.3
	品目	石油製品	-3.9	-1.3

寄与率：生産全体の変動に対して影響を及ぼした、各品目の影響の度合い。

(資料)経済産業省「鉱工業指数」より作成。

2021年1-3月期の鉱工業生産前期比 財別・業種別の影響度合い

財別分類	解説	財別分類・業種名	前期比(%)	寄与率(%)
鉱工業用生産財	鉱工業製品の原材料として投入される製品	鉱工業用生産財	3.7	58.4
		電子部品・デバイス工業	9.6	20.2
		汎用・業務用機械工業	8.6	11.9
資本財（除．輸送機械）	クレーンや金属工作機械など設備投資に向けられる製品	資本財（除．輸送機械）	5.5	25.9
		生産用機械工業	14.4	33.6
		自動車工業	3.1	2.7
非耐久消費財	食料品や衣料品など家計で購入される製品	非耐久消費財	2.6	16.6
		食料品・たばこ工業	2.5	10.1
		化学工業（除．無機・有機化学工業）	4.8	9.1
その他用生産財	鉱工業以外の製品の原材料として投入される製品	その他用生産財	2.1	2.8
		プラスチック製品工業	13.8	2.0
		その他工業	0.9	0.7
建設財	鉄骨やセメントなど建設投資に向けられる製品	建設財	0.6	1.1
		電気・情報通信機械工業	10.0	1.3
		金属製品工業	2.1	1.0
耐久消費財	テレビや電気冷蔵庫など家計で購入される製品	耐久消費財	-3.7	-11.9
		自動車工業	-8.9	-23.1

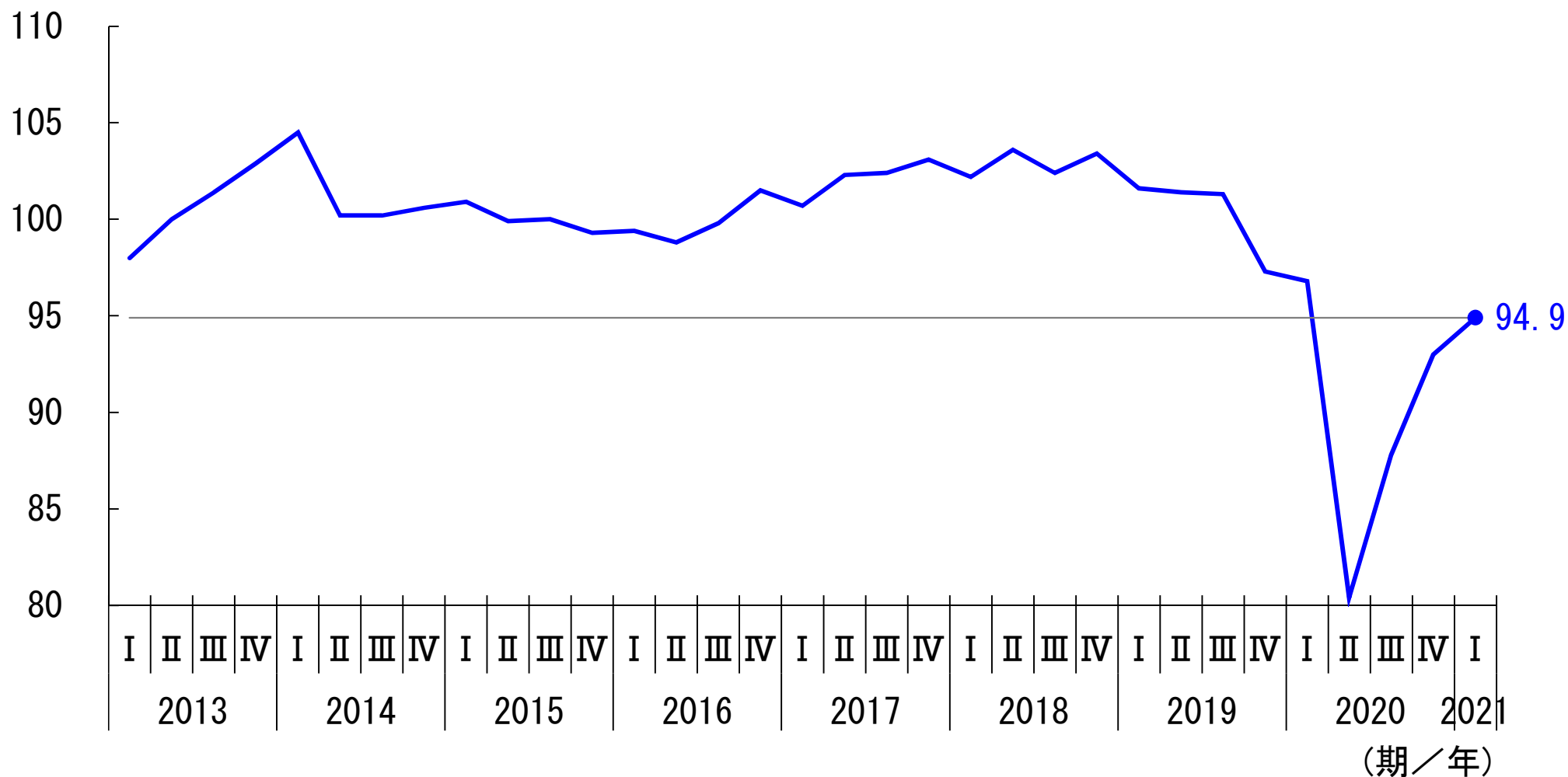
寄与率：生産全体の変動に対して影響を及ぼした、財別・業種別の影響の度合い。

（資料）経済産業省「鉱工業指数」より作成。

鋳工業出荷指数の動向

・ 2021年1-3月期の鋳工業出荷指数は94.9（前期比2.0%）と3期連続の上昇。

（2015年＝100、季節調整済）



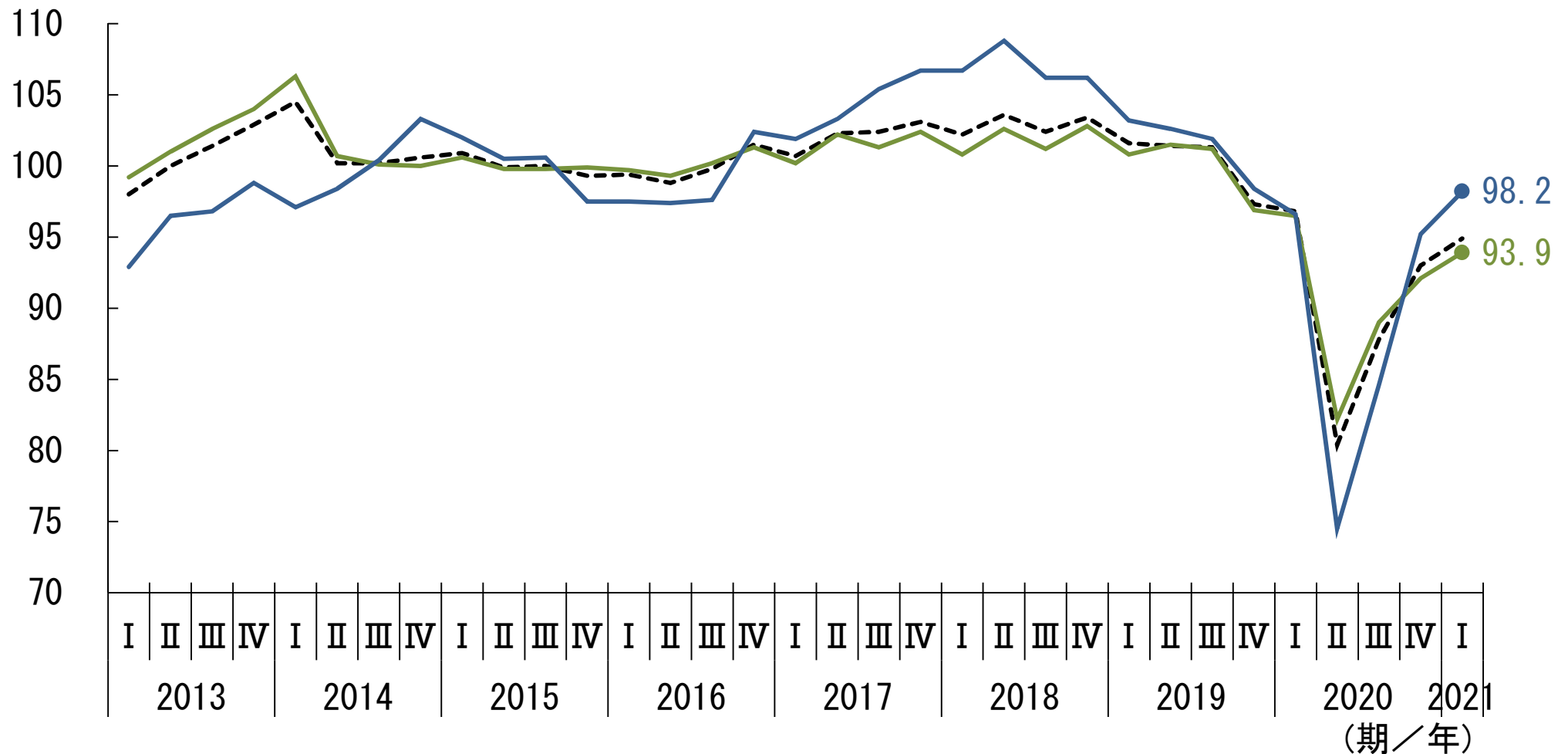
（資料）経済産業省「鋳工業指数」より作成。

国内向け／輸出向け出荷の動向

・2021年1-3月期の鋳工業出荷を国内向け／輸出向け別にみると、国内向けは93.9(前期比2.0%)と3期連続の上昇、輸出向けは98.2(前期比3.2%)と3期連続の上昇。

(2015年=100、季節調整済)

--- 鋳工業出荷 — 国内向け — 輸出向け

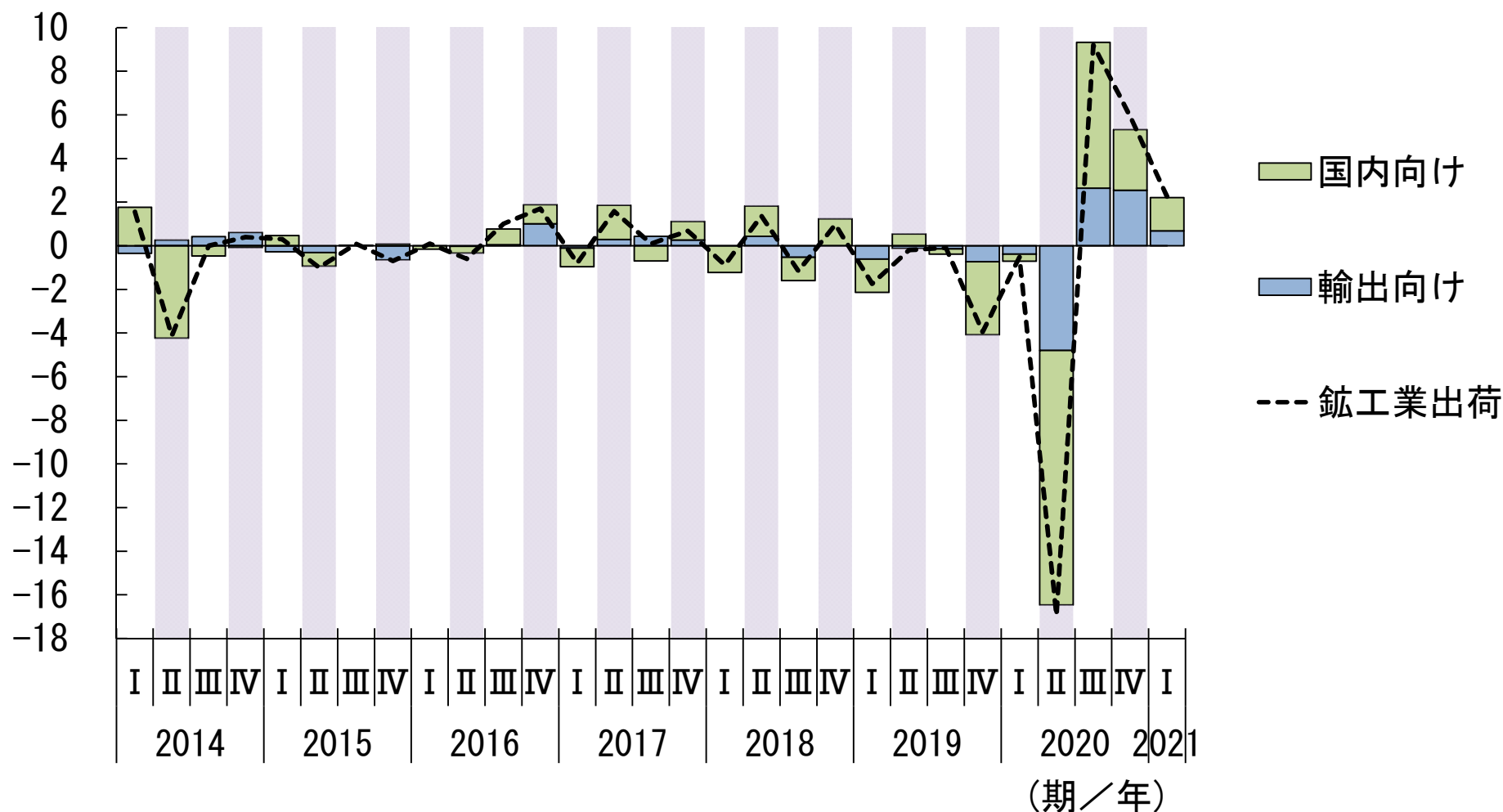


(資料) 経済産業省「鋳工業指数」、「鋳工業出荷内訳表」より作成。

鉱工業出荷前期比 国内向け／輸出向け別の影響度合い

- 2021年1-3月期の鉱工業出荷は、国内向け、輸出向けともに上昇したため、前期比2.0%の上昇。

(季節調整済、前期比、%、%ポイント)

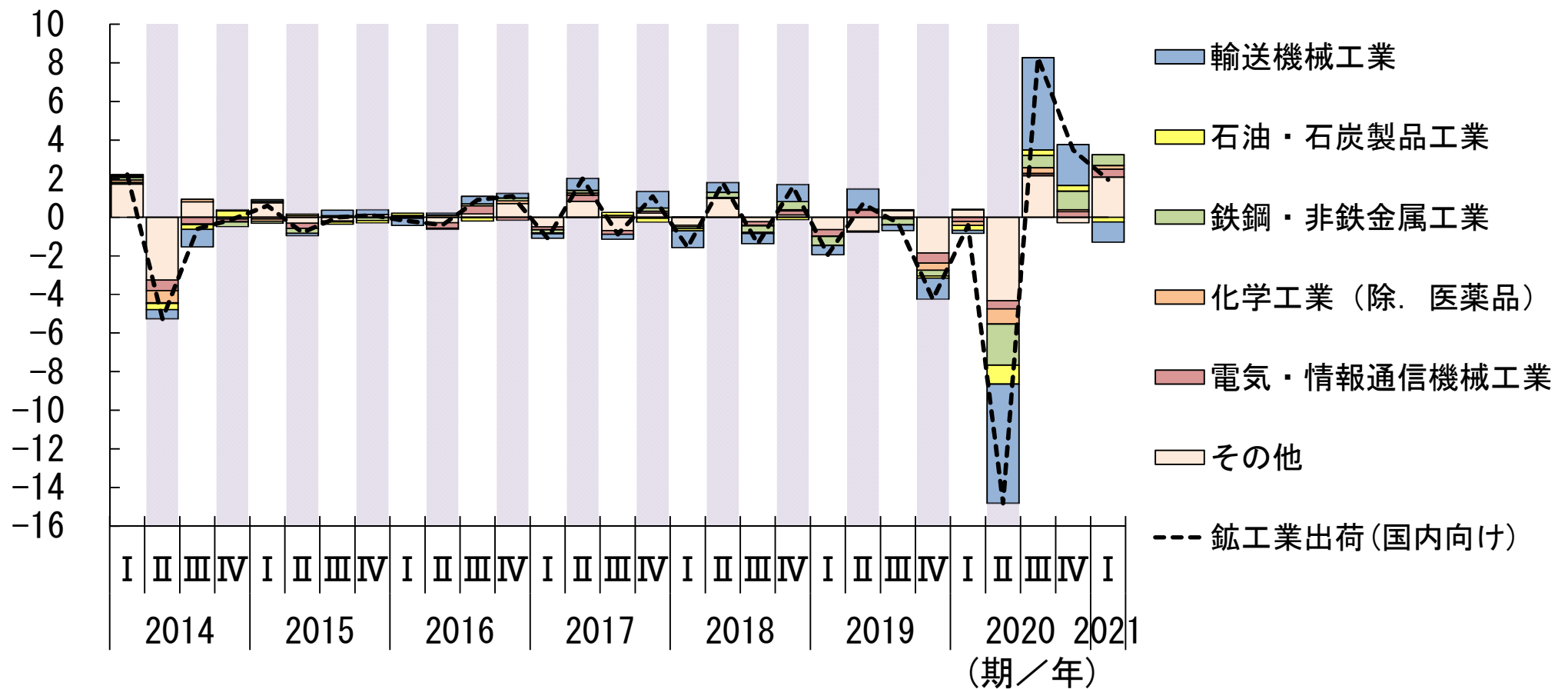


(資料) 経済産業省「鉱工業指数」、「鉱工業出荷内訳表」より作成。

国内向け出荷前期比 業種別の影響度合い

- 2021年1-3月期の国内向け出荷を、主要業種別にみると、輸送機械工業などが低下したものの、鉄鋼・非鉄金属工業などが上昇。

(季節調整済、前期比、%、%ポイント)



(注) 主要業種とは、国内向け出荷(ウェイト7896.12)のうち、ウェイトが大きい5業種を選定。

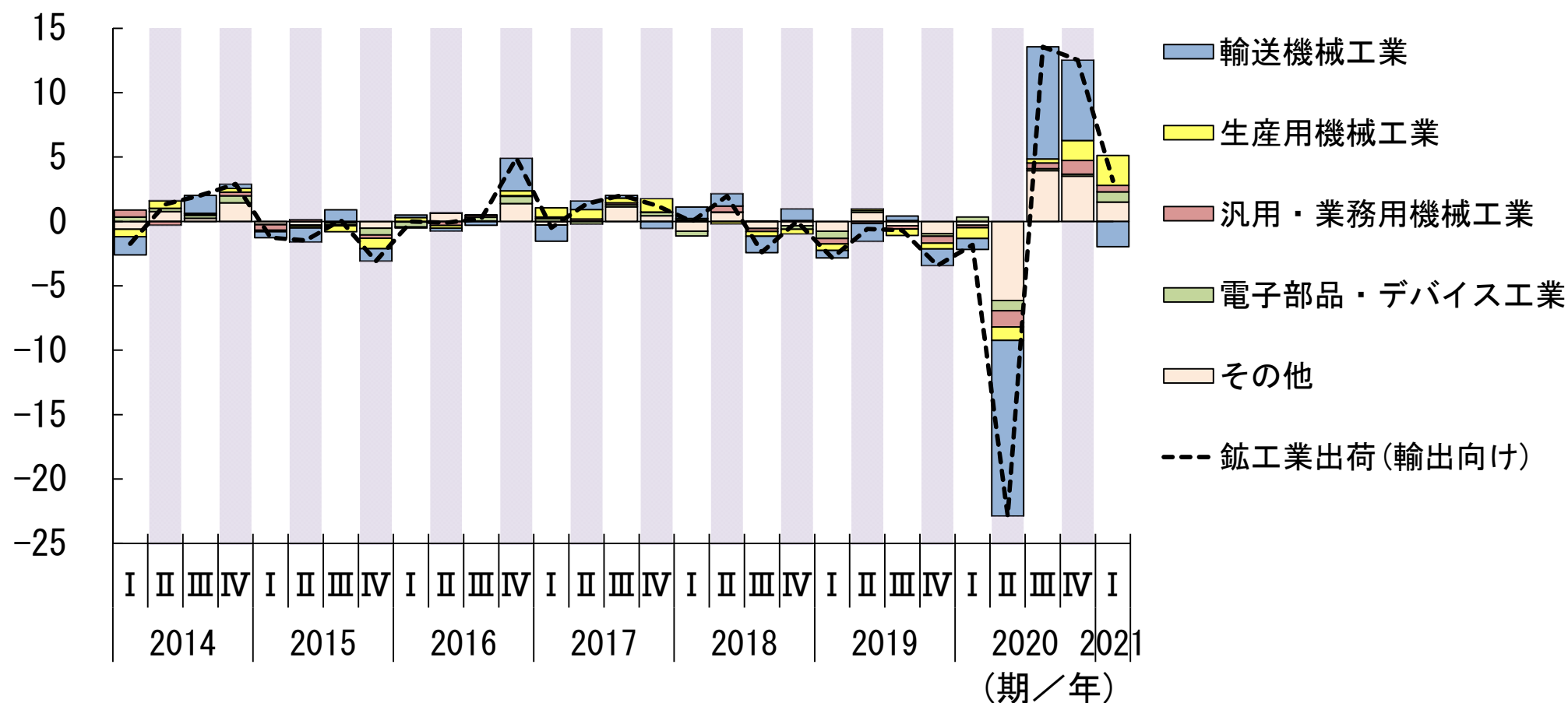
具体的には、輸送機械工業(国内向け、ウェイト1193.18)、鉄鋼・非鉄金属工業(同、同786.21)、石油・石炭製品工業(同、同664.82)、化学工業(除. 医薬品)(同、同629.02)、電気・情報通信機械工業(同、同607.02)。

(資料) 経済産業省「鉱工業出荷内訳表」より作成。

輸出向け出荷前期比 業種別の影響度合い

- 2021年1-3月期の輸出向け出荷を、主要業種別にみると、輸送機械工業が低下したものの、生産用機械工業などが上昇。

(季節調整済、前期比、%、%ポイント)



(注) 主要業種とは、輸出向け出荷(ウェイト2103.88)のうち、ウェイトが大きい業種(上位4業種)を選定。

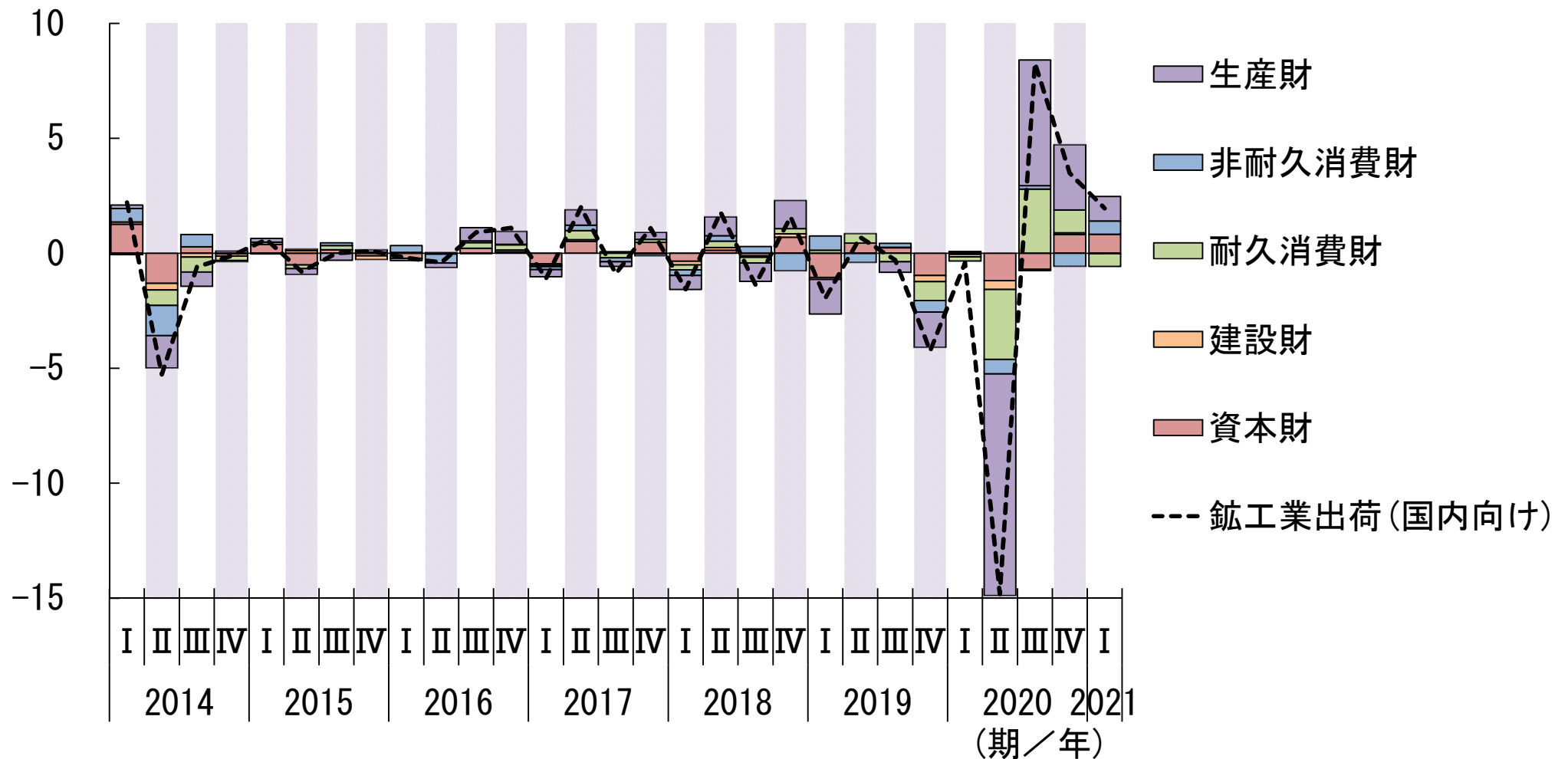
具体的には、輸送機械工業(輸出向け、ウェイト678.22)、生産用機械工業(同、同270.38)、汎用・業務用機械工業(同、同218.87)、電子部品・デバイス工業(同、同186.86)の4業種。

(資料) 経済産業省「鉱工業出荷内訳表」より作成。

国内向け出荷前期比 財別の影響度合い

- 2021年1-3月期の国内向け出荷を、財別にみると、耐久消費財などが低下したものの、生産財などが上昇。

(季節調整済、前期比、%、%ポイント)

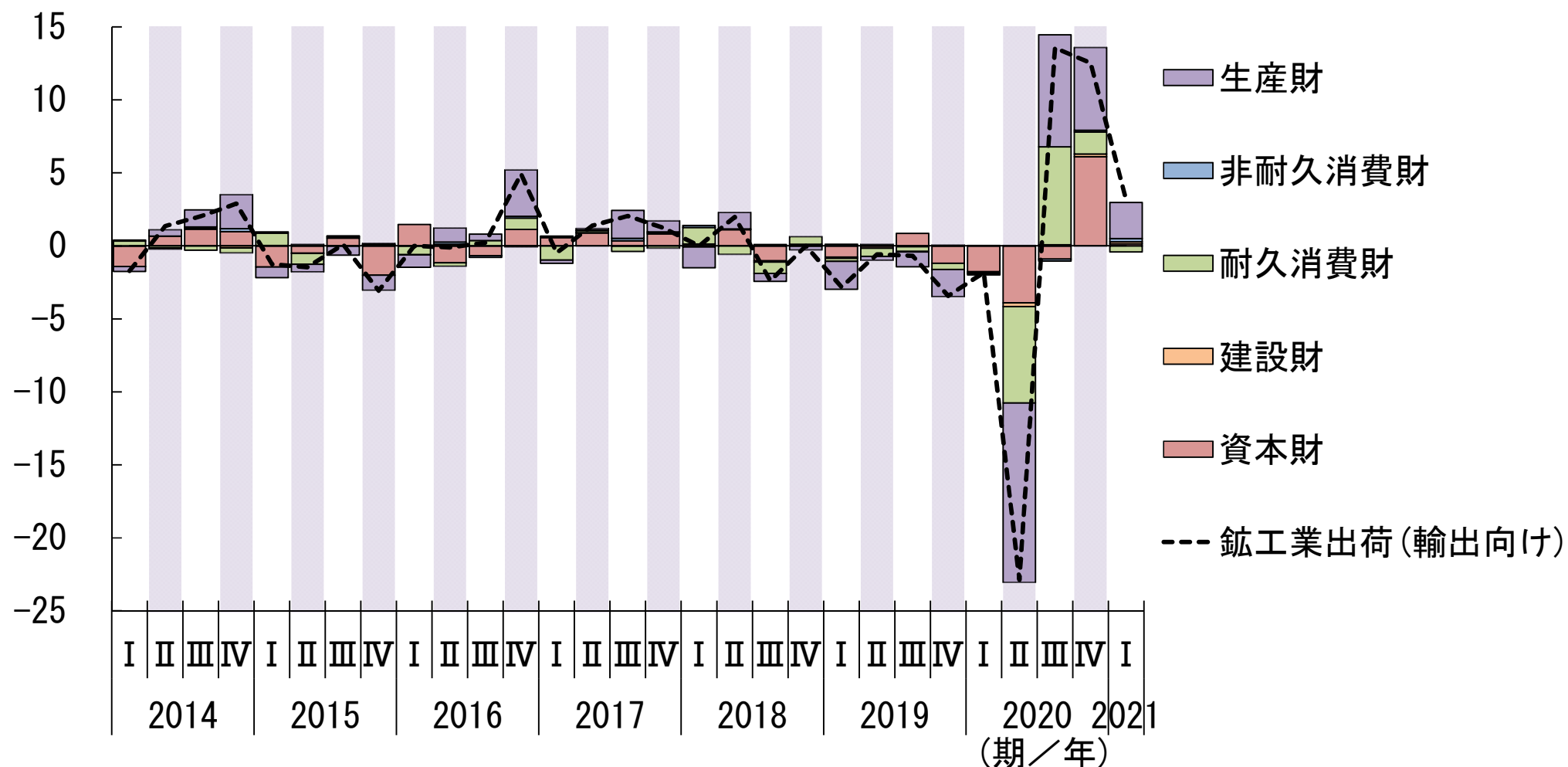


(資料) 経済産業省「鉱工業出荷内訳表」より作成。

輸出向け出荷前期比 財別の影響度合い

- 2021年1-3月期の輸出向け出荷を、財別にみると、耐久消費財が低下したものの、生産財などが上昇。

(季節調整済、前期比、%、%ポイント)

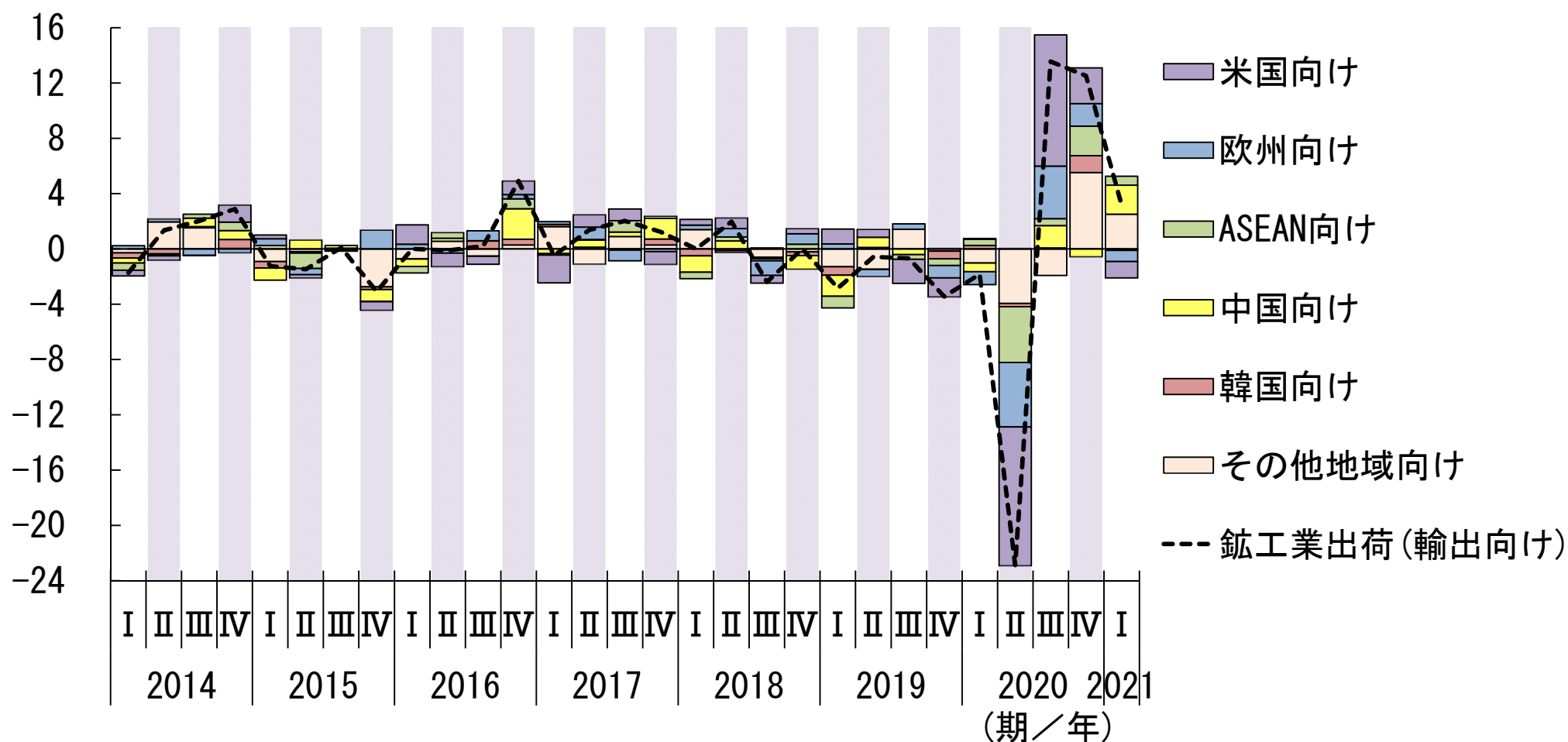


(資料) 経済産業省「鋳工業出荷内訳表」より作成。

輸出向け出荷前期比 地域別の影響度合い

- 2021年1-3月期の輸出向け出荷を、地域別にみると、米国向けなどが低下したものの、中国向けなどが上昇。

(季節調整済、前期比、%、%ポイント)



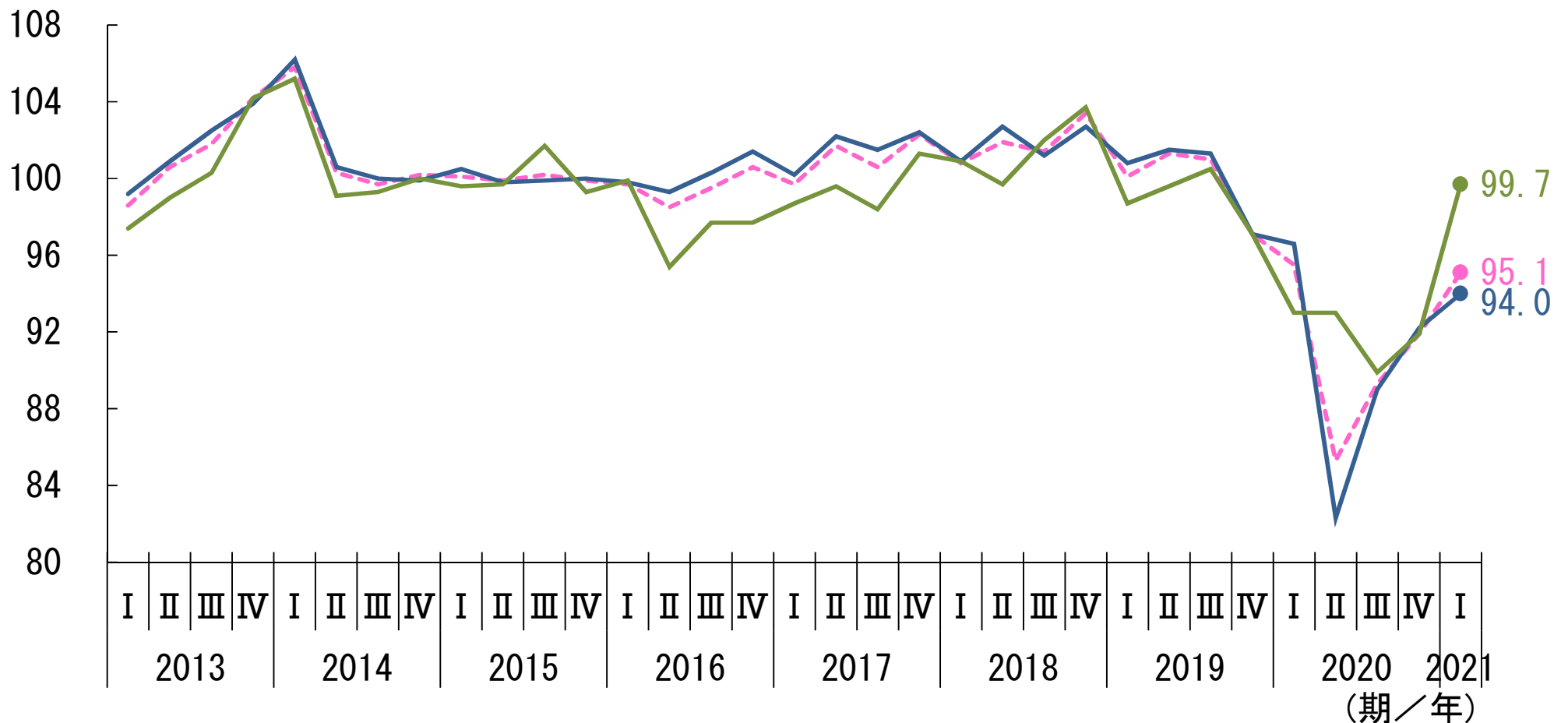
(注) 貿易統計に基づく試算値。

鉍工業総供給指数の動向

- ・2021年1-3月期の鉍工業総供給指数は95.1（前期比3.5%）と3期連続の上昇。
- ・内訳をみると、国産は94.0（前期比2.0%）と3期連続の上昇、輸入は99.7（前期比8.5%）と2期連続の上昇。

（2015年＝100、季節調整済）

--- 鉍工業総供給 — 国産 — 輸入

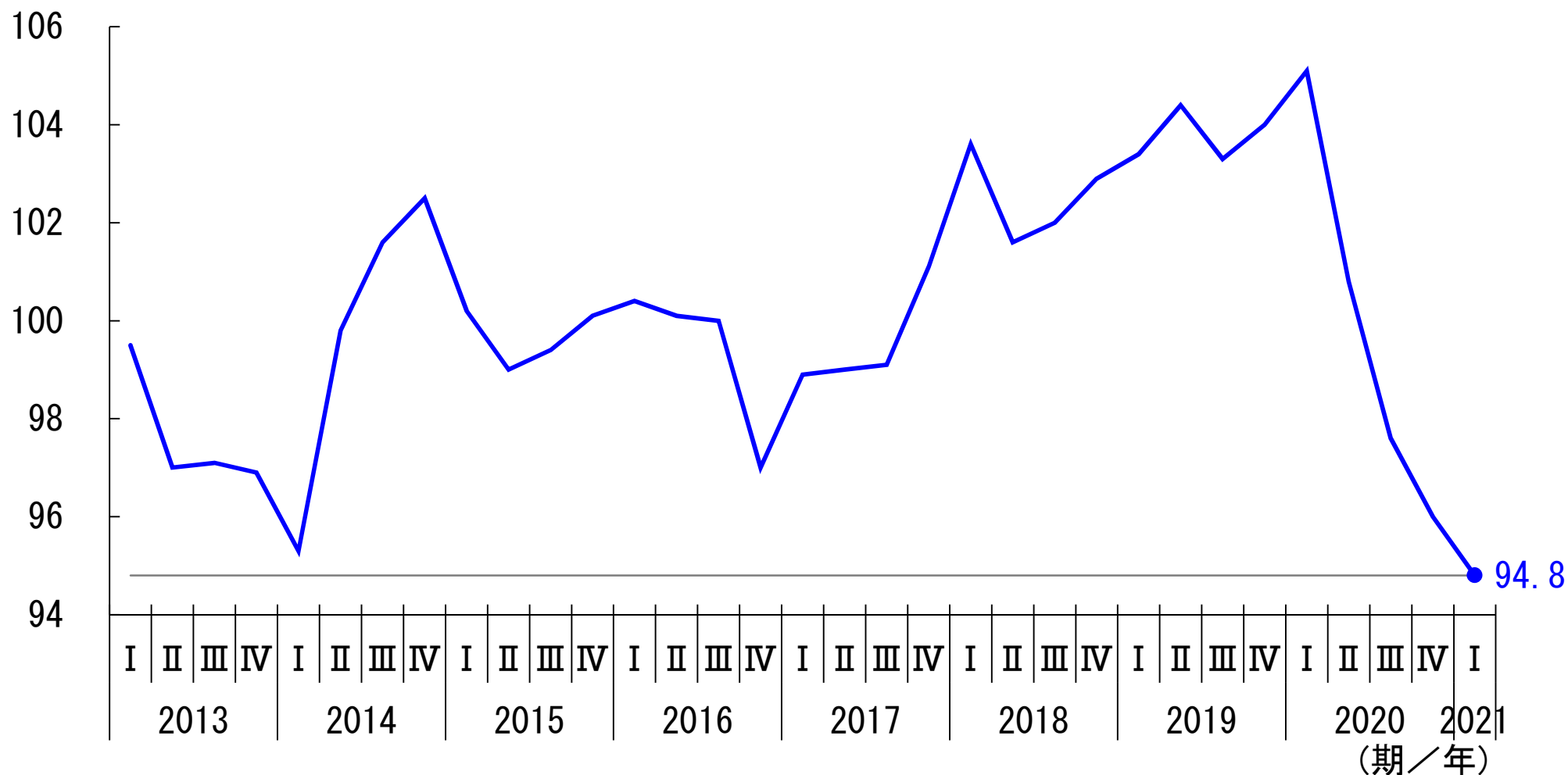


（資料）経済産業省「鉍工業総供給表」より作成。

鋁工業在庫指数の動向

・ 2021年1-3月期の在庫指数は94.8(前期比-1.3%)と4期連続の低下。

(2015年=100、季節調整済)

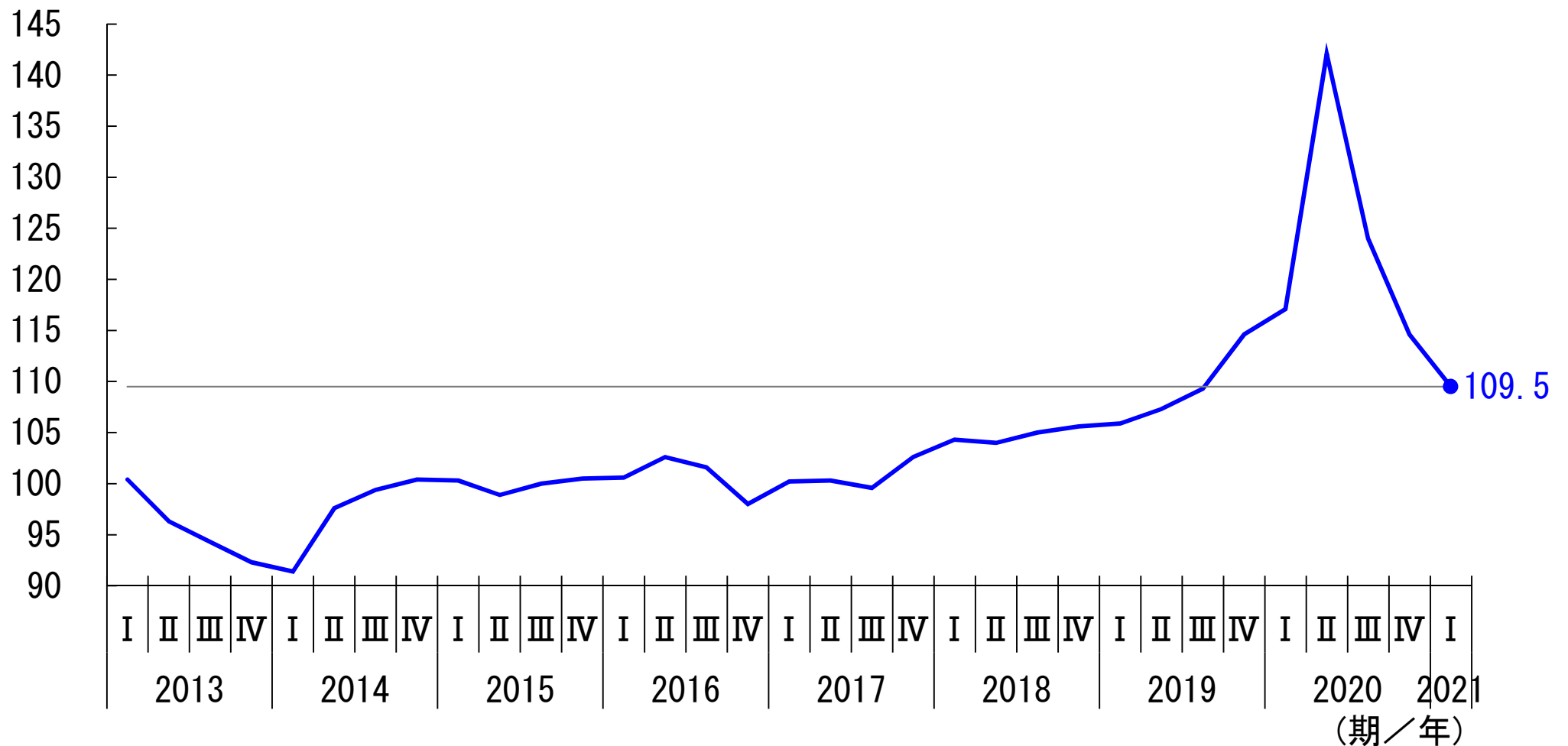


(資料) 経済産業省「鋁工業指数」より作成。

鋁工業在庫率指数の動向

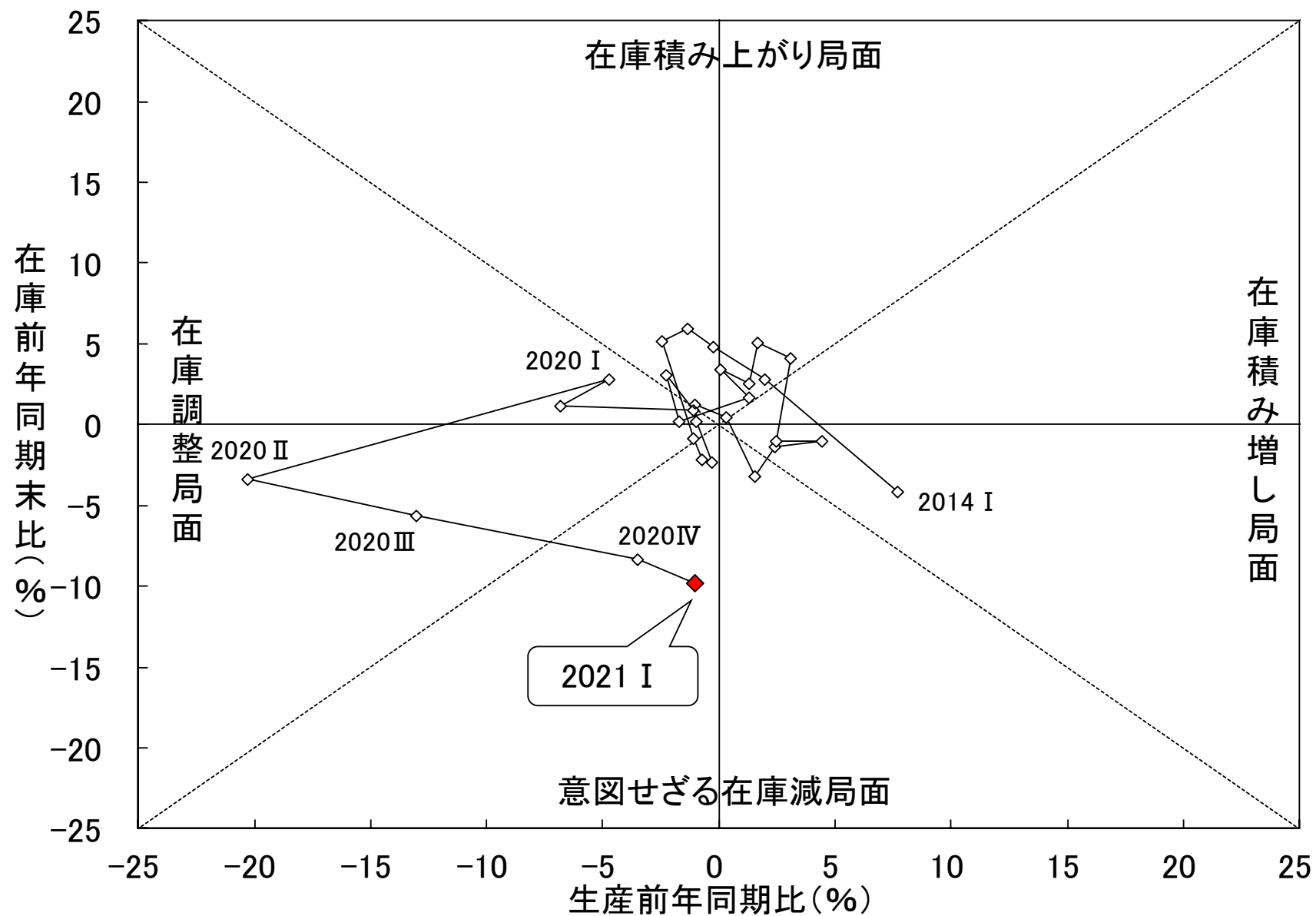
・ 2021年1-3月期の在庫率指数は109.5（前期比-4.5%）と3期連続の低下。

（2015年＝100、季節調整済）



（資料）経済産業省「鋁工業指数」より作成。

鉱工業の在庫循環図



(資料)経済産業省「鉱工業指数」より作成。

第 3 次産業活動の動向

2021年1-3月期の第3次産業活動指数の状況

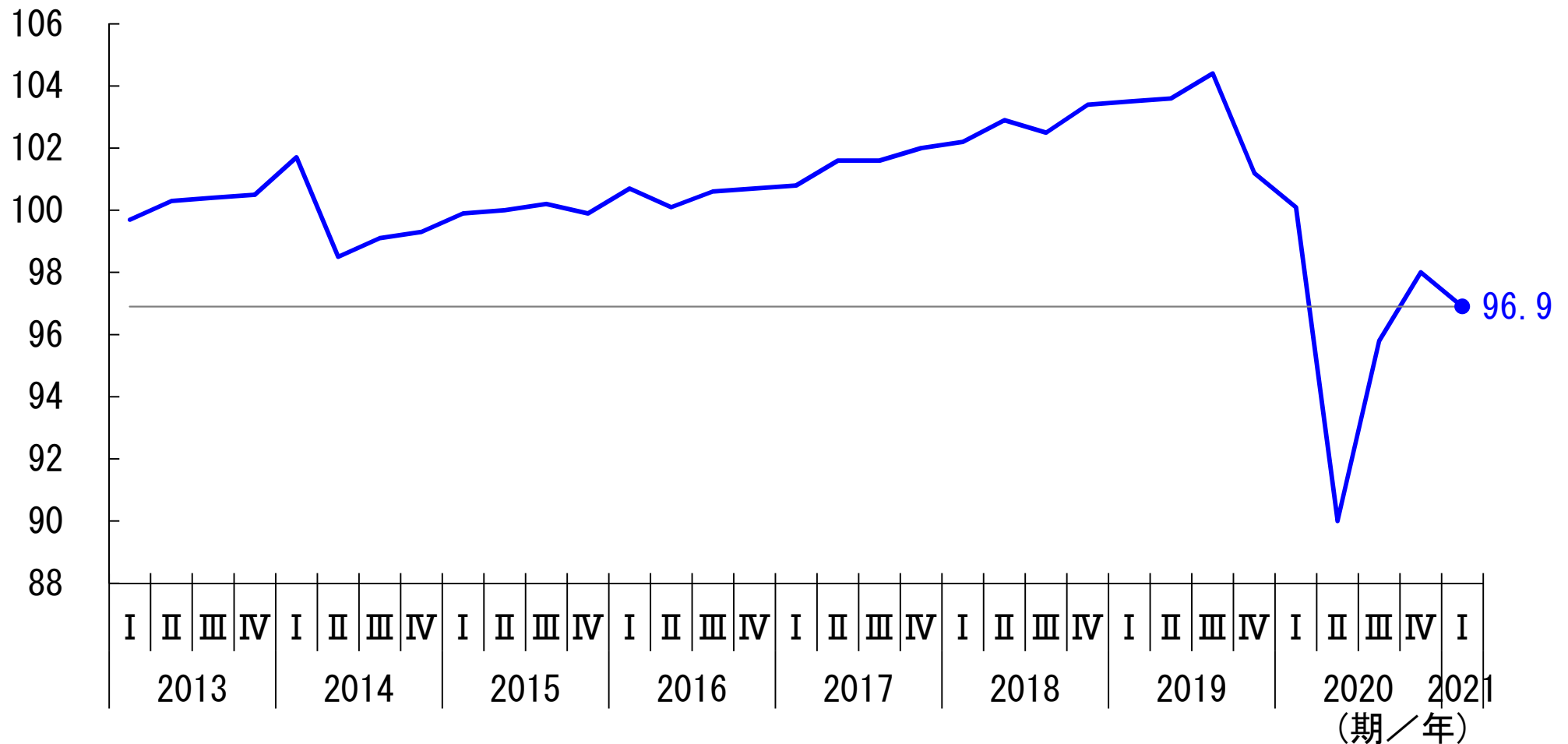
四半期	第3次産業総合	広義対個人サービス	広義対事業所サービス
季調済指数 前期比	96.9 -1.1%	94.5 -2.5%	99.7 1.3%
指数水準	2020Ⅲ 95.8以来 ①2020Ⅱ 90.0 ②2020Ⅲ 95.8 ③2021Ⅰ 96.9	2020Ⅲ 93.9以来 ①2020Ⅱ 85.6 ②2020Ⅲ 93.9 ③2021Ⅰ 94.5	2020Ⅰ 101.7以来 Ⅰ2019Ⅲ 105.8 Ⅱ2019Ⅱ 104.7 Ⅲ2019Ⅰ 104.3
前期比の動き	3期ぶり－ (2020Ⅱ以来)	3期ぶり－ (2020Ⅱ以来)	3期連続＋ (2020Ⅲ～当期)
前期比幅	2020Ⅱ -10.1%以来 ①2020Ⅱ -10.1% ②2014Ⅱ, 2019Ⅳ -3.1% ③2020Ⅰ, 2021Ⅰ -1.1%	2020Ⅱ -13.4%以来 ①2020Ⅱ -13.4% ②2014Ⅱ, 2019Ⅳ -3.1% ③2021Ⅰ -2.5%	2020Ⅲ 3.1%以来 Ⅰ2020Ⅲ 3.1% Ⅱ2014Ⅰ 1.4% Ⅲ2021Ⅰ 1.3%
原指数 前年同期比	97.1 -3.4%	93.4 -4.7%	100.7 -2.0%
前年同期比の動き	6期連続－ (2019Ⅳ～当期)	6期連続－ (2019Ⅳ～当期)	6期連続－ (2019Ⅳ～当期)
前年同期比幅	2020Ⅲ -8.6%以来 ①2020Ⅱ -13.1% ②2020Ⅲ -8.6% ③2021Ⅰ -3.4%	2020Ⅲ -9.2%以来 ①2020Ⅱ -16.5% ②2020Ⅲ -9.2% ③2021Ⅰ -4.7%	2020Ⅳ -2.4%以来 ①2020Ⅱ -9.8% ②2020Ⅲ -8.2% ③2019Ⅳ, 2020Ⅳ -2.4%

1) Ⅰ～Ⅲは2015年基準における最大値から上位3位まで、①～③は最小値から下位3位までの数値

第3次産業活動指数の動向（再掲）

・2021年1-3月期の第3次産業活動指数は、96.9（前期比-1.1%）と3期ぶりの低下。

（2015年＝100、季節調整済）

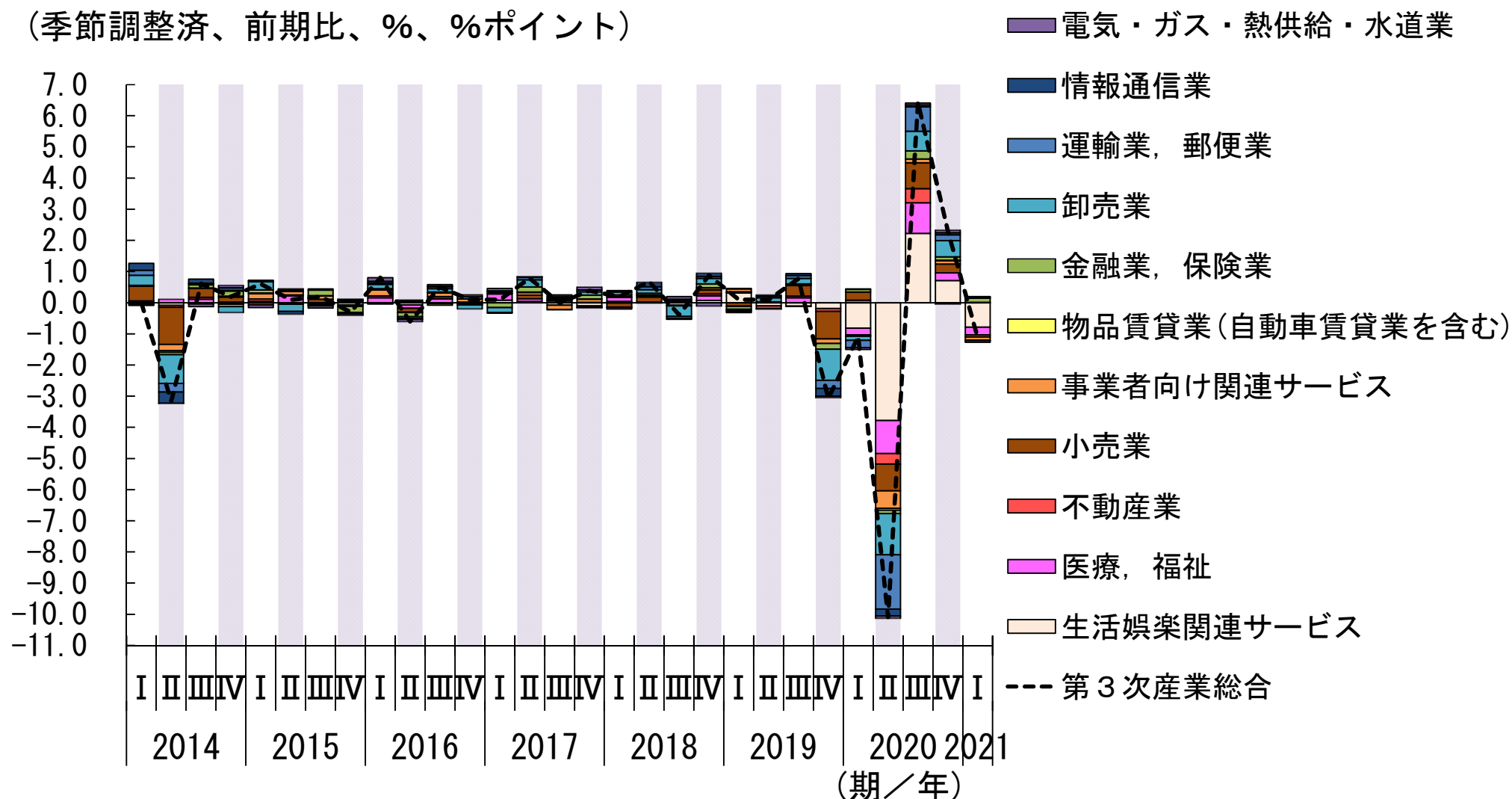


（資料）経済産業省「第3次産業活動指数」より作成。

第3次産業活動指数前期比 業種別の影響度合い

・2021年1-3月期の第3次産業活動指数は、金融業、保険業などが上昇したものの、生活娯楽関連サービスなどが低下したため、前期比-1.1%の低下。

(季節調整済、前期比、%、%ポイント)



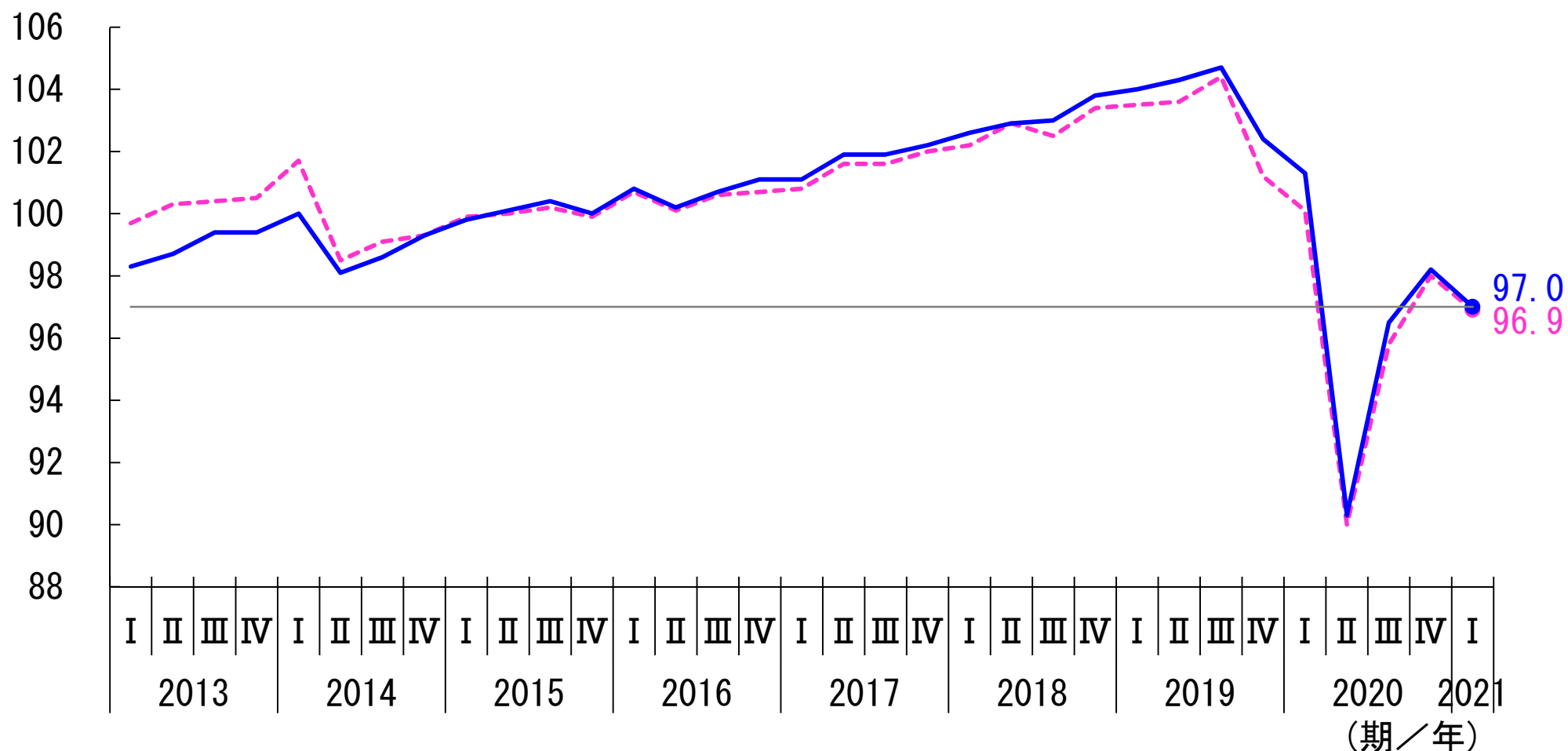
(資料)経済産業省「第3次産業活動指数」より作成。

卸売業、小売業を除いた第3次産業活動指数

・2021年1-3月期の卸売業、小売業を除いた第3次産業活動指数は、97.0(前期比-1.2%)と3期ぶりの低下。

(2015年=100、季節調整済)

--- 第3次産業総合 — 除く卸売業、小売業



(資料)経済産業省「第3次産業活動指数」より作成。

第3次産業活動指数を大きく動かした業種

		業種名	前月比	寄与率
○ 第3次産業総合を 低下 方向へ 引っ張った3業種の中で 低下への影響度が大きい内訳業種	1位の業種	生活娯楽関連サービス	- 8.7%	- 70.0%
	内訳業種	飲食店, 飲食サービス業	- 13.9%	- 40.1%
		宿泊業	- 32.2%	- 19.9%
	2位の業種	医療, 福祉	- 1.8%	- 21.4%
	内訳業種	医療業	- 3.0%	- 26.8%
		社会福祉・介護事業	- 1.0%	- 2.9%
○ 第3次産業総合を 上昇 方向へ 引っ張った3業種の中で 上昇への影響度が大きい内訳業種	3位の業種	事業者向け関連サービス	- 1.2%	- 9.6%
	内訳業種	自動車整備業(事業用車両)	- 6.2%	- 2.9%
		機械修理業	- 3.7%	- 2.3%
	1位の業種	金融業, 保険業	1.4%	11.2%
	内訳業種	金融商品取引業, 商品先物取引業	13.2%	8.7%
		銀行業・協同組織金融業	1.1%	4.7%
	2位の業種	卸売業	0.2%	2.5%
	内訳業種	機械器具卸売業	7.7%	28.3%
	3位の業種	電気・ガス・熱供給・水道業	0.4%	1.4%
	内訳業種	電気業	0.8%	1.8%

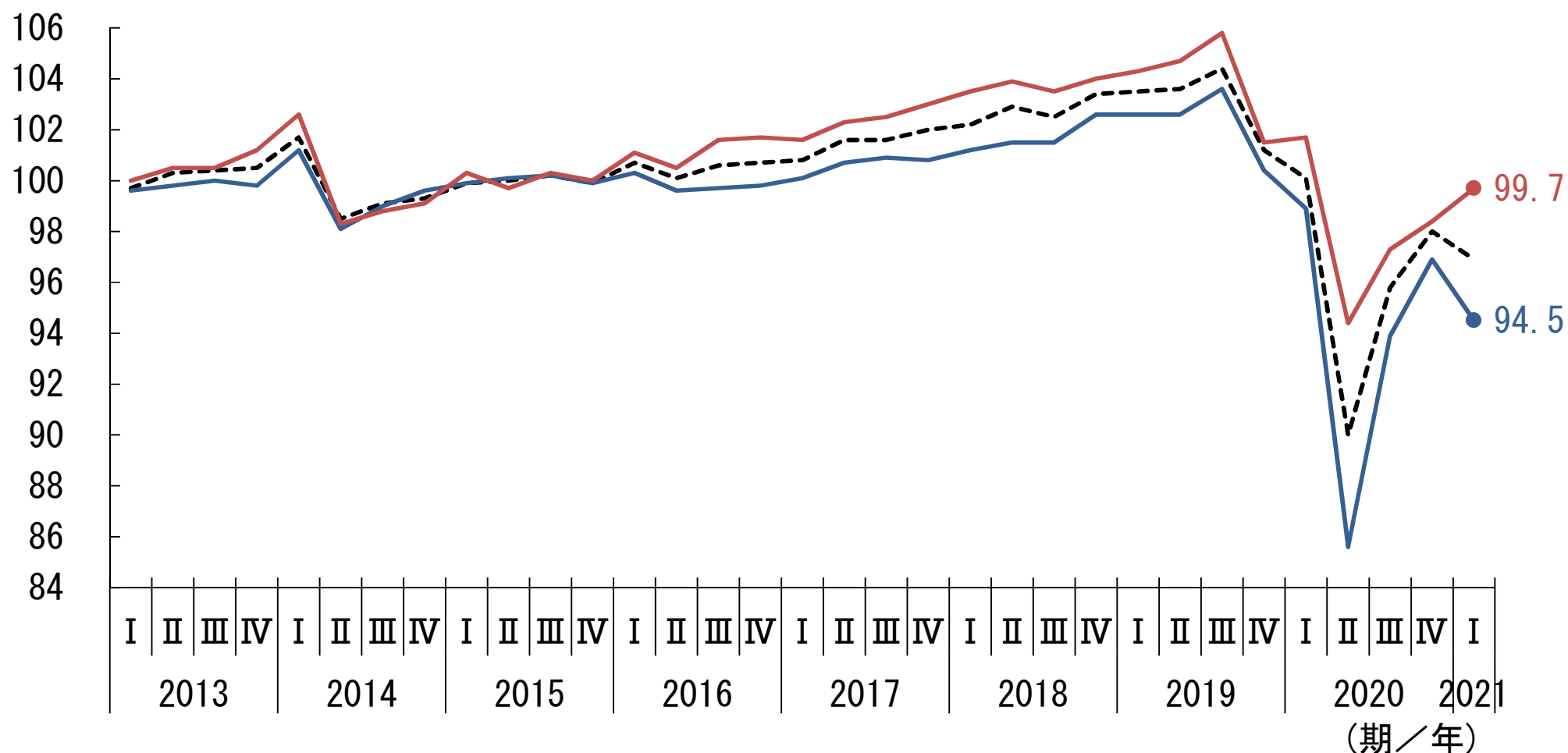
寄与率：第3次産業全体の変動に対して影響を及ぼした、各業種の影響の度合い。

(資料) 経済産業省「第3次産業活動指数」より作成。

広義対個人サービス／広義対事業所サービス活動指数の動向

- ・ 2021年1-3月期の広義対個人サービス活動指数は、94.5(前期比-2.5%)と3期ぶりの低下。
- ・ 広義対事業所サービス活動指数は、99.7(前期比1.3%)と3期連続の上昇。

(2015年=100、季節調整済)--- 第3次産業総合 — 広義対個人サービス — 広義対事業所サービス

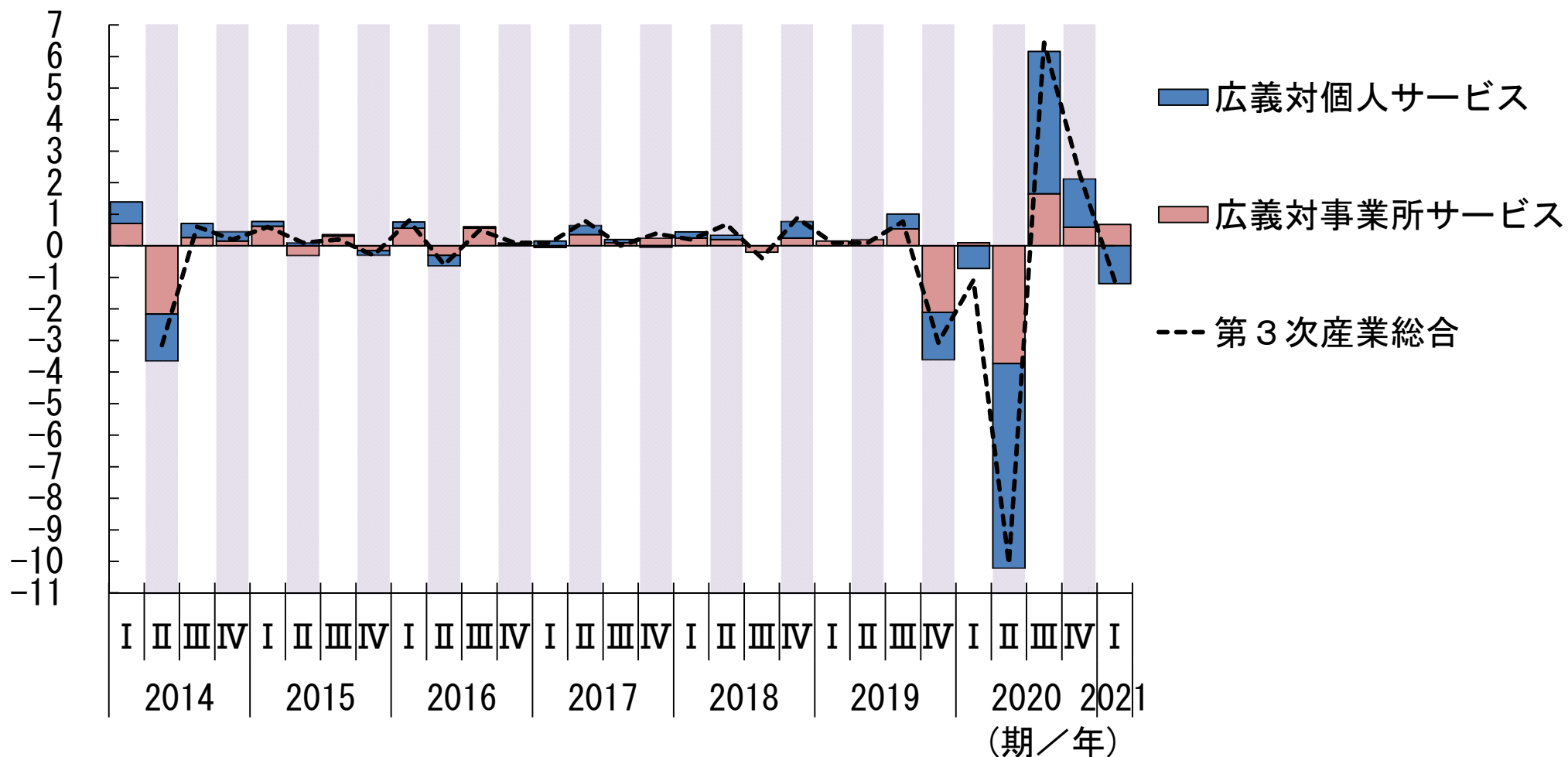


(資料)経済産業省「第3次産業活動指数」より作成。

第3次産業総合前期比 広義対個人／広義対事業所サービスの影響度合い

- 2021年1-3月期の第3次産業活動指数は、広義対事業所サービスが上昇したものの、広義対個人サービスが低下。

(季節調整済、前期比、%、%ポイント)



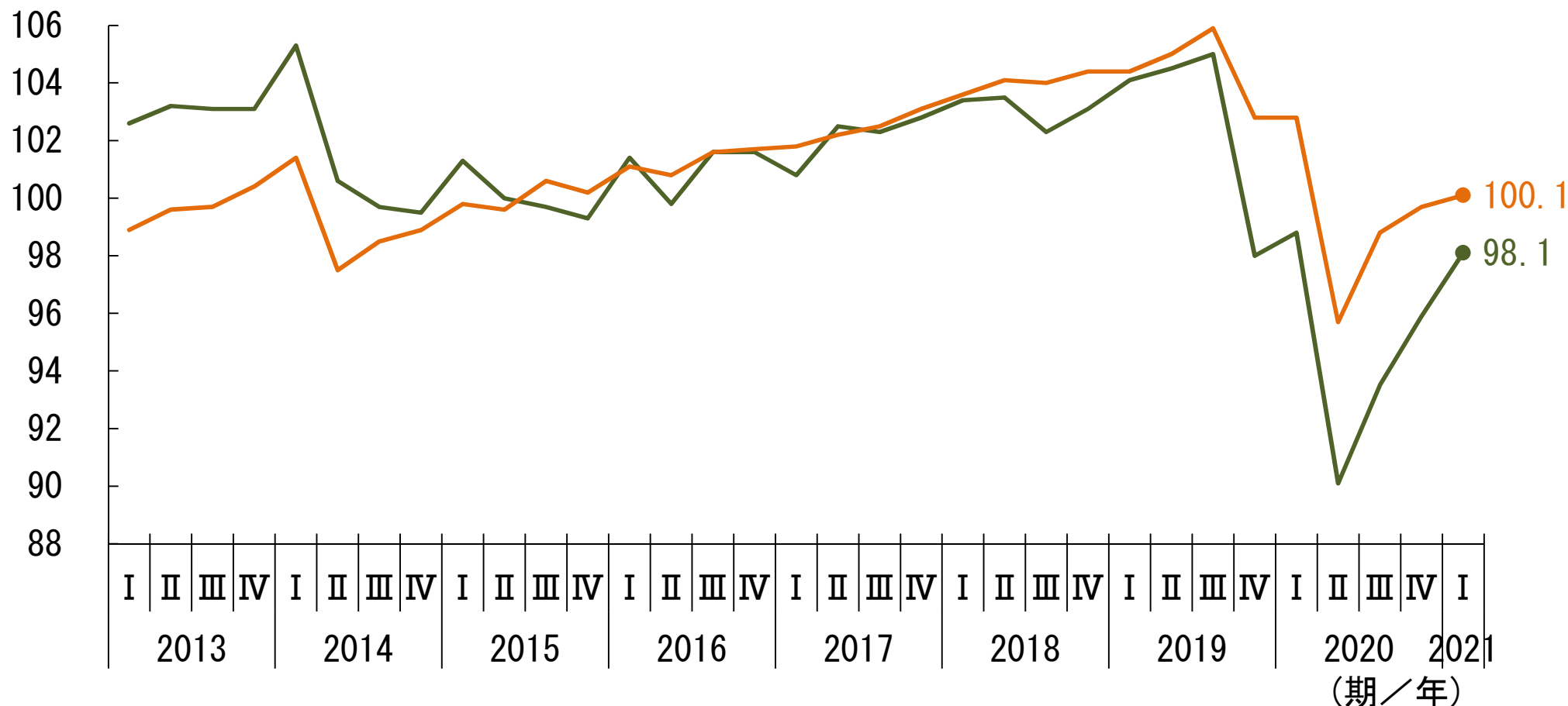
(資料)経済産業省「第3次産業活動指数」より作成。

製造業／非製造業依存型 事業所向けサービス活動指数の動向

- ・ 2021年1-3月期の製造業依存型サービス活動指数は、98.1（前期比2.3%）と3期連続の上昇。
- ・ 非製造業依存型サービス活動指数は、100.1（前期比0.4%）と3期連続の上昇。

（2015年＝100、季節調整済）

— 製造業依存型サービス — 非製造業依存型サービス



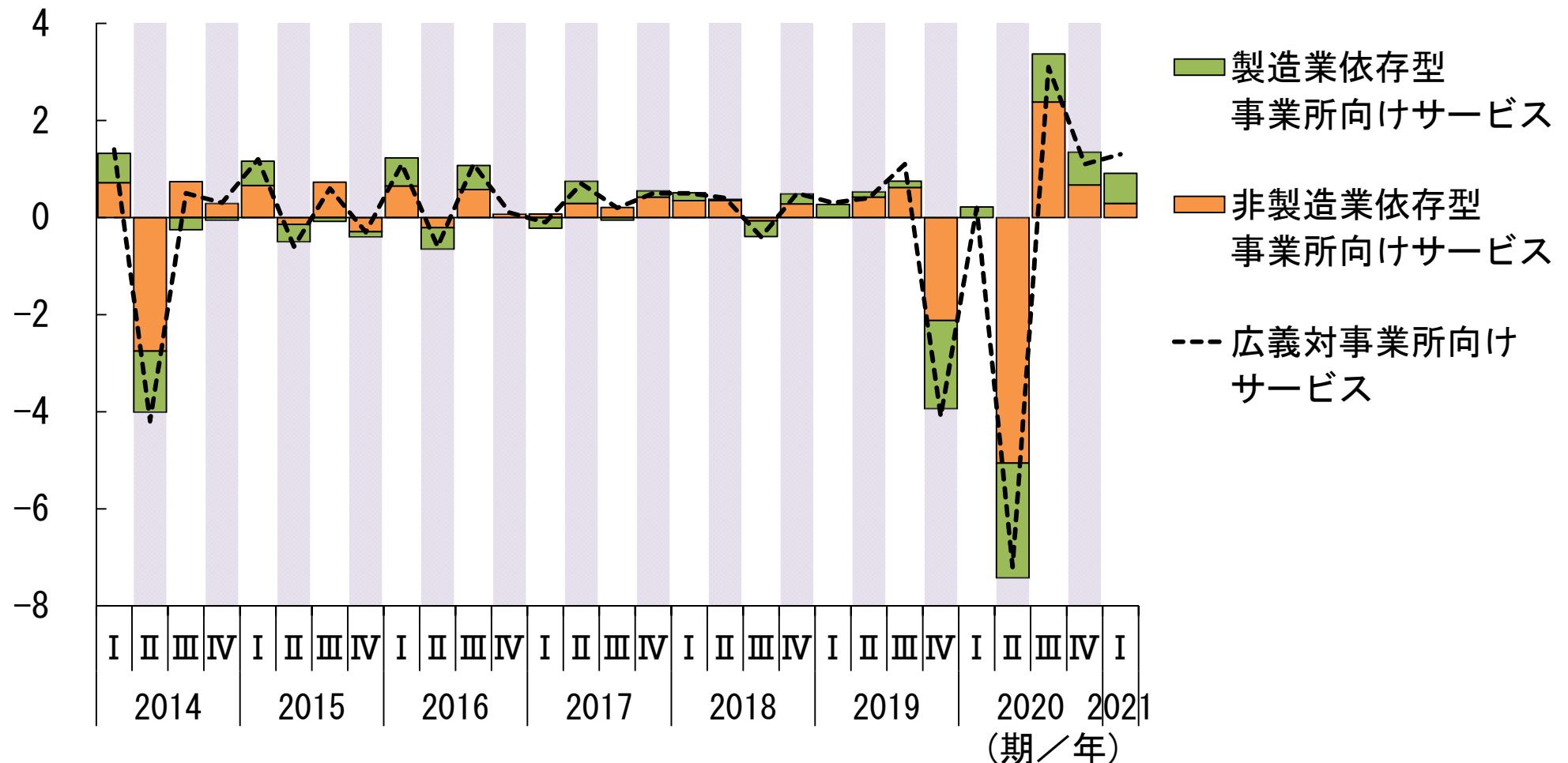
（注）広義対事業所サービスの内訳系列を、産業連関表の製造業と非製造業の投入比率の大小により、「製造業依存型」と「非製造業依存型」の二つに分類している。

（資料）経済産業省「第3次産業活動指数」より作成。

広義対事業所向けサービス活動前期比 製造業／非製造業依存型事業所向けサービス別の影響度合い

- 2021年1-3月期の広義対事業所サービス活動指数は、製造業依存型事業所向けサービス、非製造業依存型事業所向けサービスともに上昇。

(季節調整済、前期比、%、%ポイント)

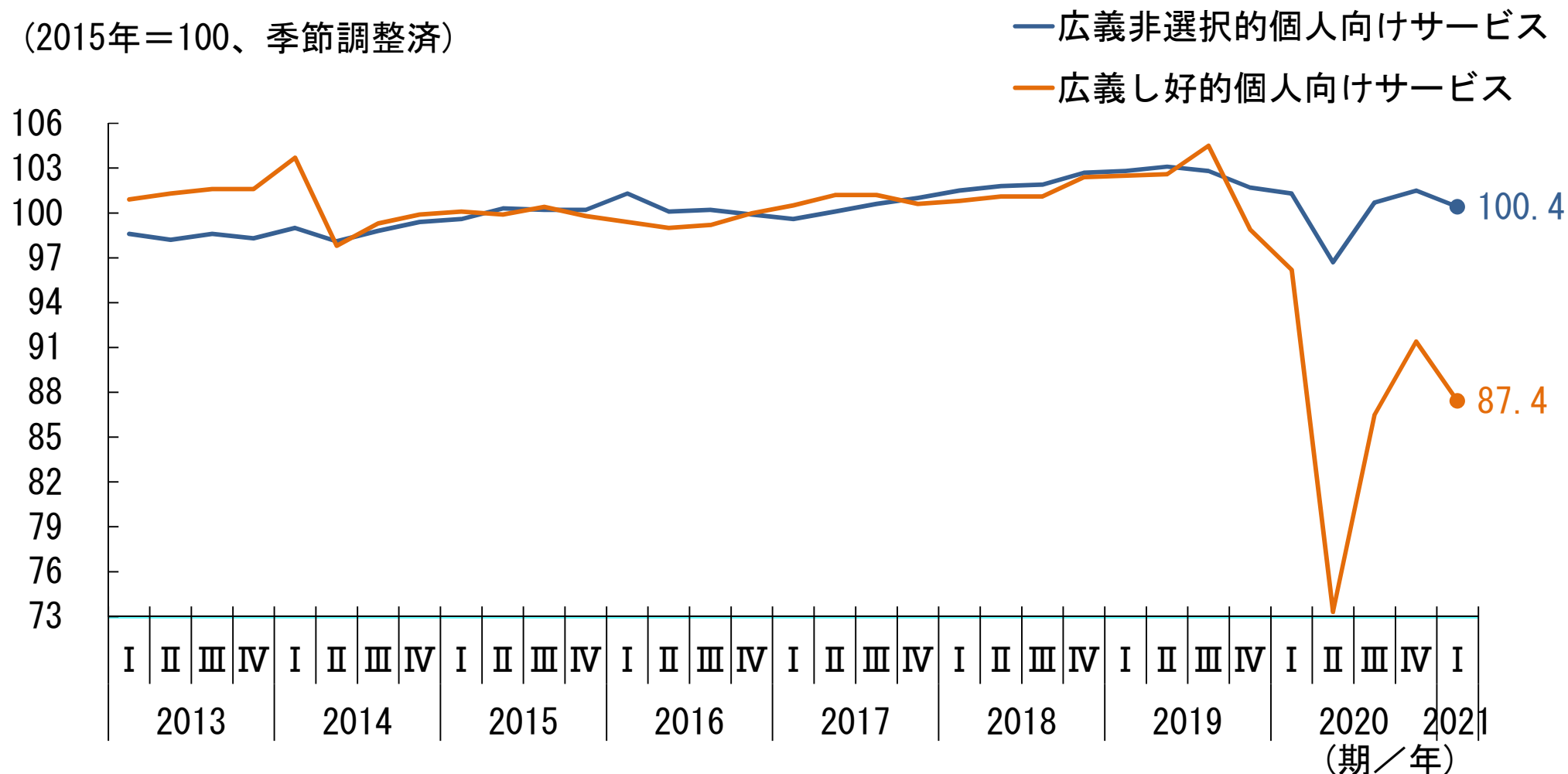


(資料)経済産業省「第3次産業活動指数」より作成。

非選択的／し好的 個人向けサービス活動指数の動向

- ・2021年1-3月期の広義非選択的個人向けサービス活動指数は、100.4(前期比-1.1%)と3期ぶりの低下。
- ・広義し好的個人向けサービス活動指数は、87.4(前期比-4.4%)と3期ぶりの低下。

(2015年=100、季節調整済)

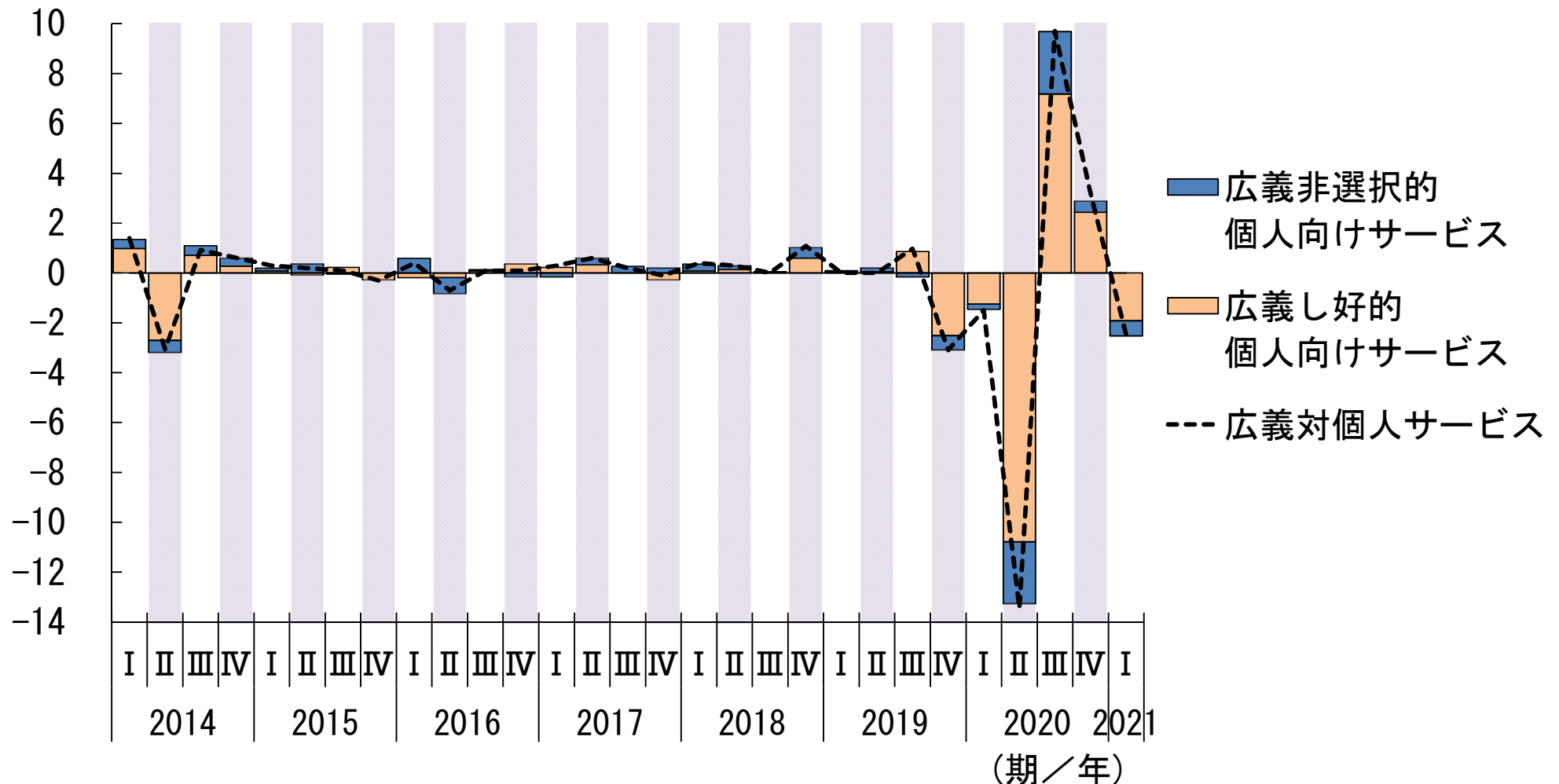


(資料)経済産業省「第3次産業活動指数」より作成。

広義対個人サービス活動前期比 非選択的／し好的個人向けサービス別の影響度合い

- 2021年1-3月期の広義対個人サービス活動指数は、広義非選択的個人向けサービス、広義し好的個人向けサービスともに低下。

(季節調整済、前期比、%、%ポイント)



(資料) 経済産業省「第3次産業活動指数」より作成。

広義対事業所サービス、し好的個人向けサービスを大きく動かした個別系列

	業種名	前月比
○ 広義対事業所サービスを 低下 方向へ引張った業種の中で 低下への影響度が大きい内訳業種	農畜産物・水産物卸売業	- 7.2%
	リネンサプライ業	- 28.4%
	その他の卸売業	- 2.2%
	自動車整備業(事業用車両)	- 6.2%
	食料・飲料卸売業	- 1.8%
○ 広義対事業所サービスを 上昇 方向へ引張った業種の中で 上昇への影響度が大きい内訳業種	一般貨物自動車運送業	4.7%
	電気機械器具卸売業	7.2%
	流通業務	15.9%
	産業機械器具卸売業	6.8%
	その他の情報処理・提供サービス業	4.1%

	業種名	前月比
○ し好的個人向けサービスを 低下 方向へ引張った業種の中で 低下への影響度が大きい内訳業種	食堂, レストラン, 専門店	- 19.5%
	国内旅行	- 54.7%
	織物・衣服・身の回り品小売業	- 9.9%
	遊園地・テーマパーク	- 42.8%
	パチンコホール	- 7.1%
○ し好的個人向けサービスを 上昇 方向へ引張った業種の中で 上昇への影響度が大きい内訳業種	自動車小売業	6.0%
	自動車整備業(家庭用車両)	7.8%
	マンション分譲(近畿圏)	21.8%
	学習塾	2.1%
	ゴルフ場	3.7%

(資料) 経済産業省「第3次産業活動指数」より作成。

消費向け／投資向けサービス活動指数の動向

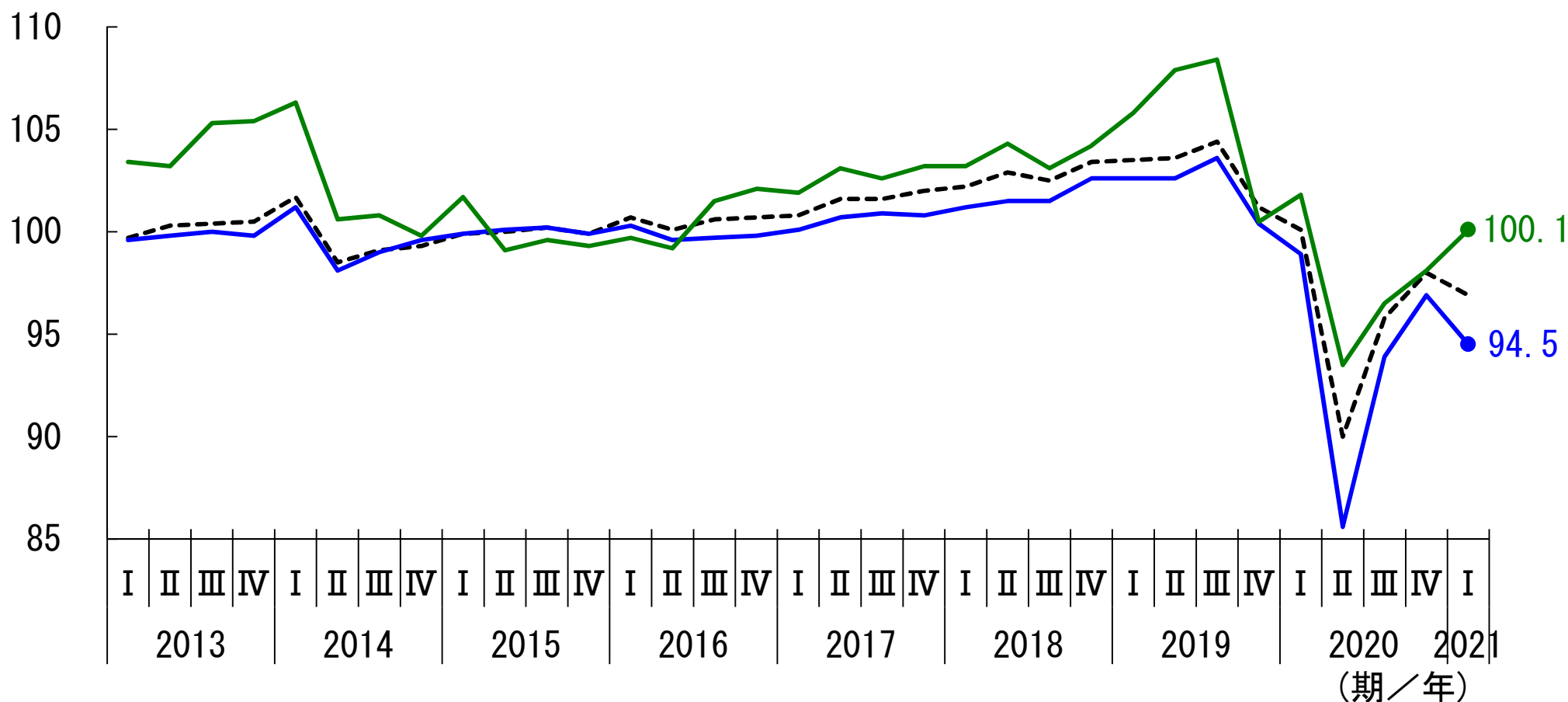
- ・ 2021年1-3月期の消費向けサービス活動指数は、94.5（前期比-2.5%）と3期ぶりの低下。
- ・ 投資向けサービス活動指数は、100.1（前期比2.0%）と3期連続の上昇。

（2015年＝100、季節調整済）

--- 第3次産業総合

— 消費向け

— 投資向け

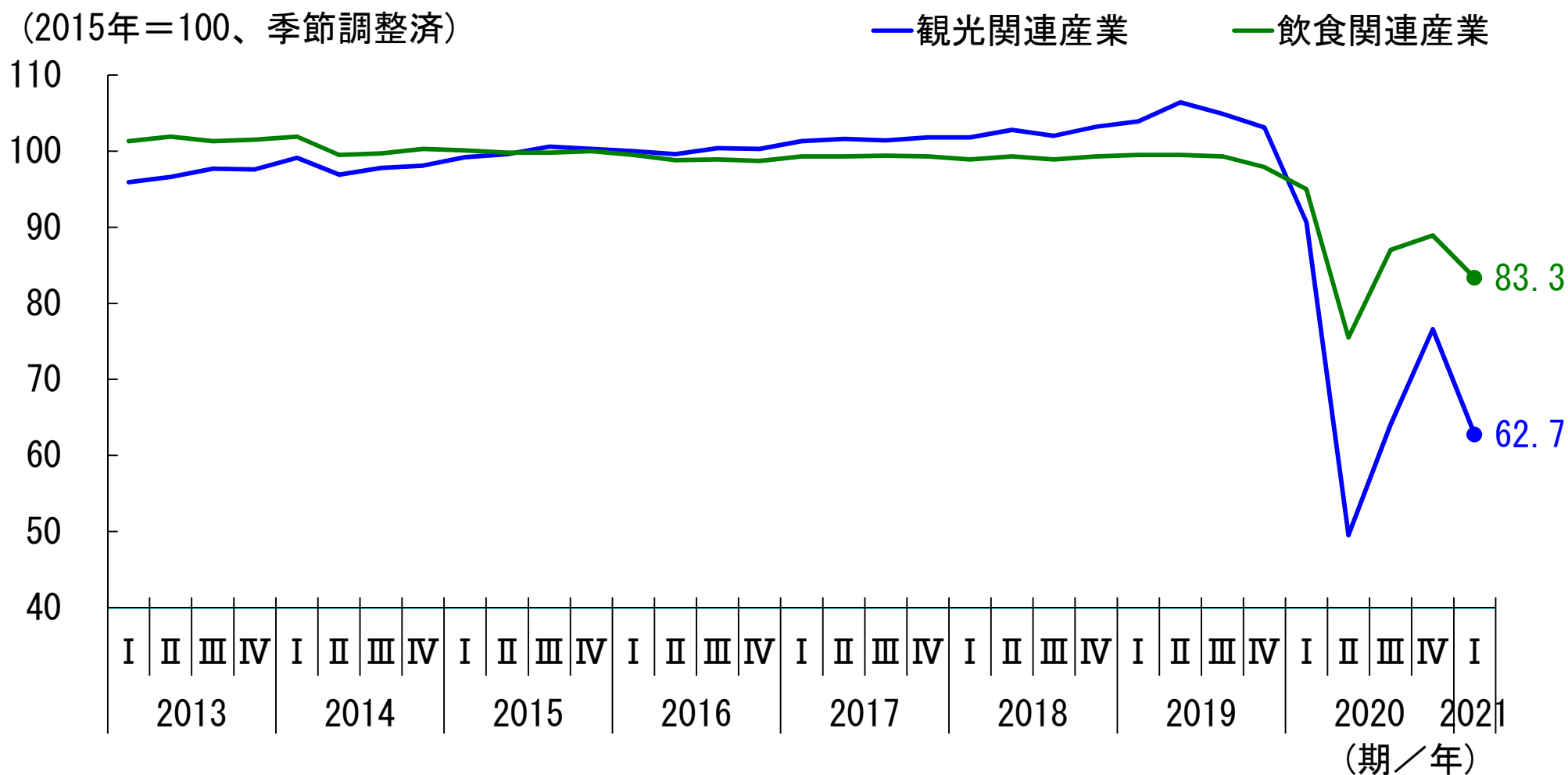


（注）消費向けサービス活動指数（＝広義対個人サービス活動指数）は、個人消費関連のサービス（小売業や娯楽業など）の動きを表す系列。
投資向けサービス活動指数は、民間企業設備関連のサービス（ソフトウェア開発、機械器具卸売業など）の動きを表す系列。

（資料）経済産業省「第3次産業活動指数」より作成。

観光関連産業活動指数、飲食関連産業活動指数の動向

- ・ 2021年1-3月期の観光関連産業活動指数は、62.7(前期比-18.1%)と3期ぶりの低下。
- ・ 飲食関連産業活動指数は、83.3(前期比-6.3%)と3期ぶりの低下。

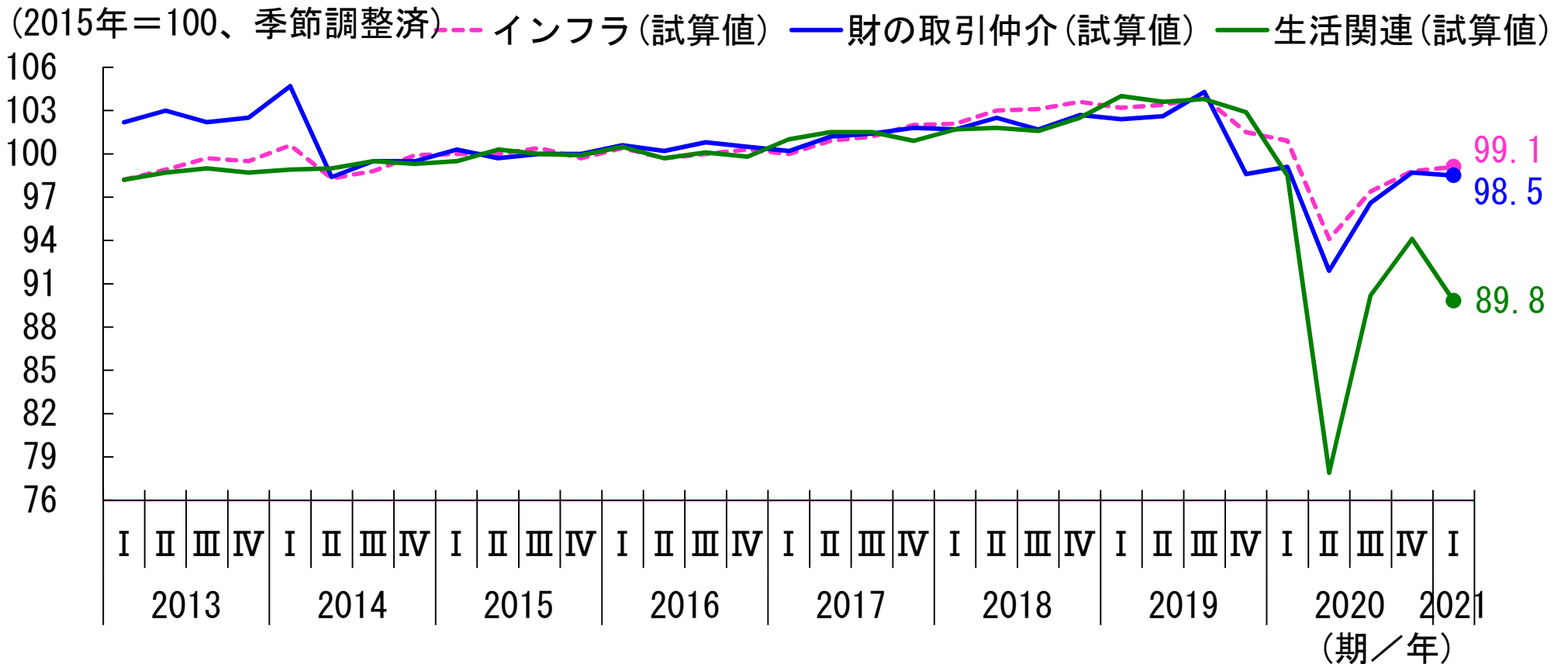


(注) 観光関連産業活動指数には、鉄道、バス、タクシー、飛行機、船舶等の旅客運送業、道路施設提供業(高速道路)、旅館、ホテル等の宿泊業、旅行業、遊園地・テーマパークが含まれる。
 飲食関連産業活動指数には、デパート等の各種商品小売業(飲食料品部門)、飲食料品小売業、食堂、レストランやファーストフード等の飲食店、飲食サービス業が含まれる参考値。

(資料) 経済産業省「第3次産業活動指数」より作成。

形態別にみたサービス活動指数の動向

- ・ 2021年1-3月期のインフラ型サービス活動指数(試算値)は、99.1(前期比0.3%)と3期連続の上昇。
- ・ 財の取引仲介型サービス活動指数(試算値)は、98.5(前期比-0.2%)と3期ぶりの低下。
- ・ 生活関連型サービス活動指数(試算値)は、89.8(前期比-4.6%)と3期ぶりの低下。



(注) インフラ型サービス活動指数、財の取引仲介型サービス活動指数、生活関連型サービス活動指数は、それぞれ下記大分類業種の季節調整済指数を各ウェイトで加重平均して算出した試算値。なお、第3次産業活動指数の11ある大分類業種のうち「事業者向け関連サービス」は、この3つの試算値には含めていない。

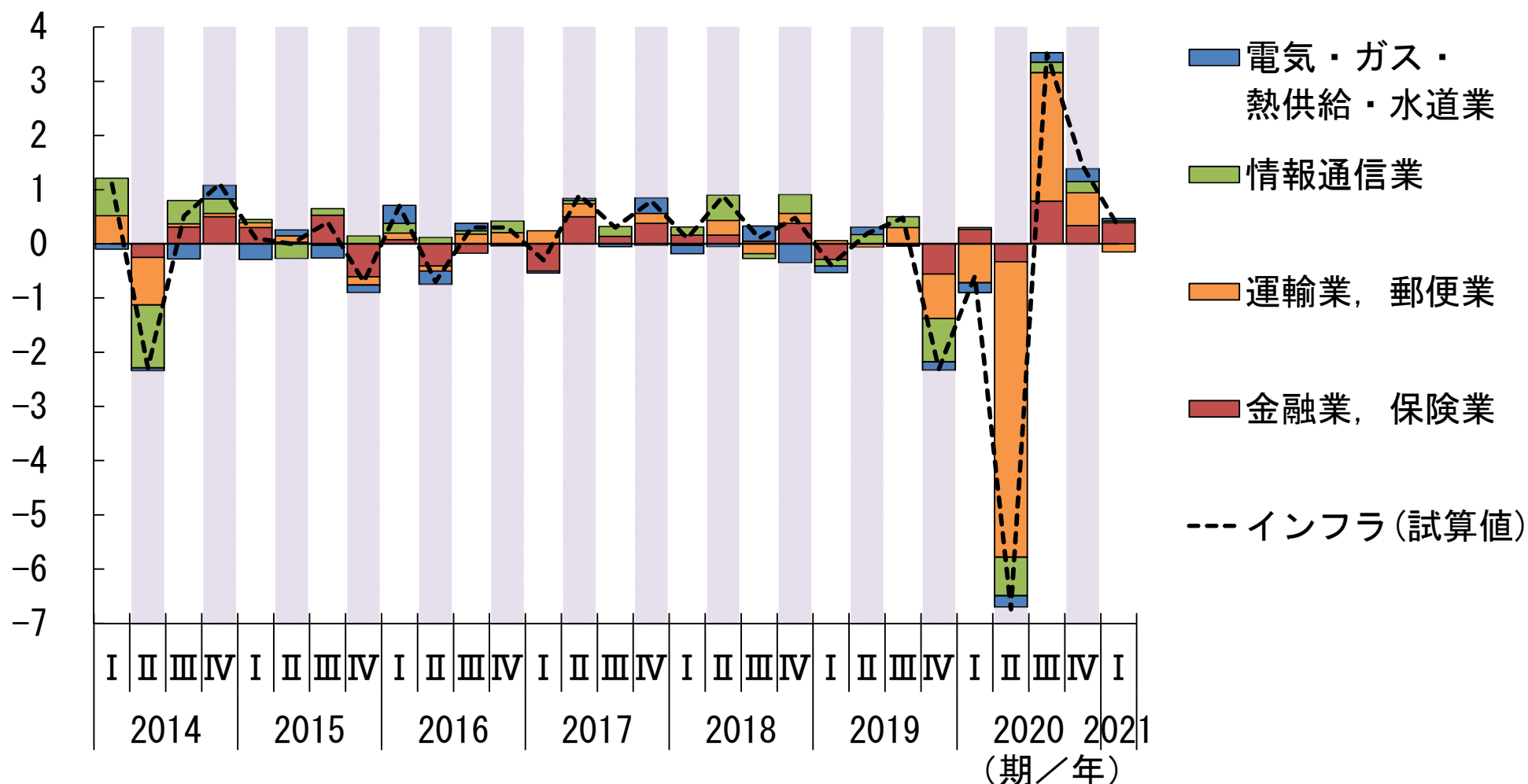
- ・ インフラ型サービス活動指数：電気・ガス・熱供給・水道業、情報通信業、運輸業、郵便業、金融業、保険業
- ・ 財の取引仲介型サービス活動指数：卸売業、物品賃貸業(自転車賃貸業を含む)、小売業、不動産業
- ・ 生活関連型サービス活動指数：医療、福祉、生活娯楽関連サービス

(資料) 経済産業省「第3次産業活動指数」より作成。

インフラ型サービス活動指数(試算値) 業種別の影響度合い

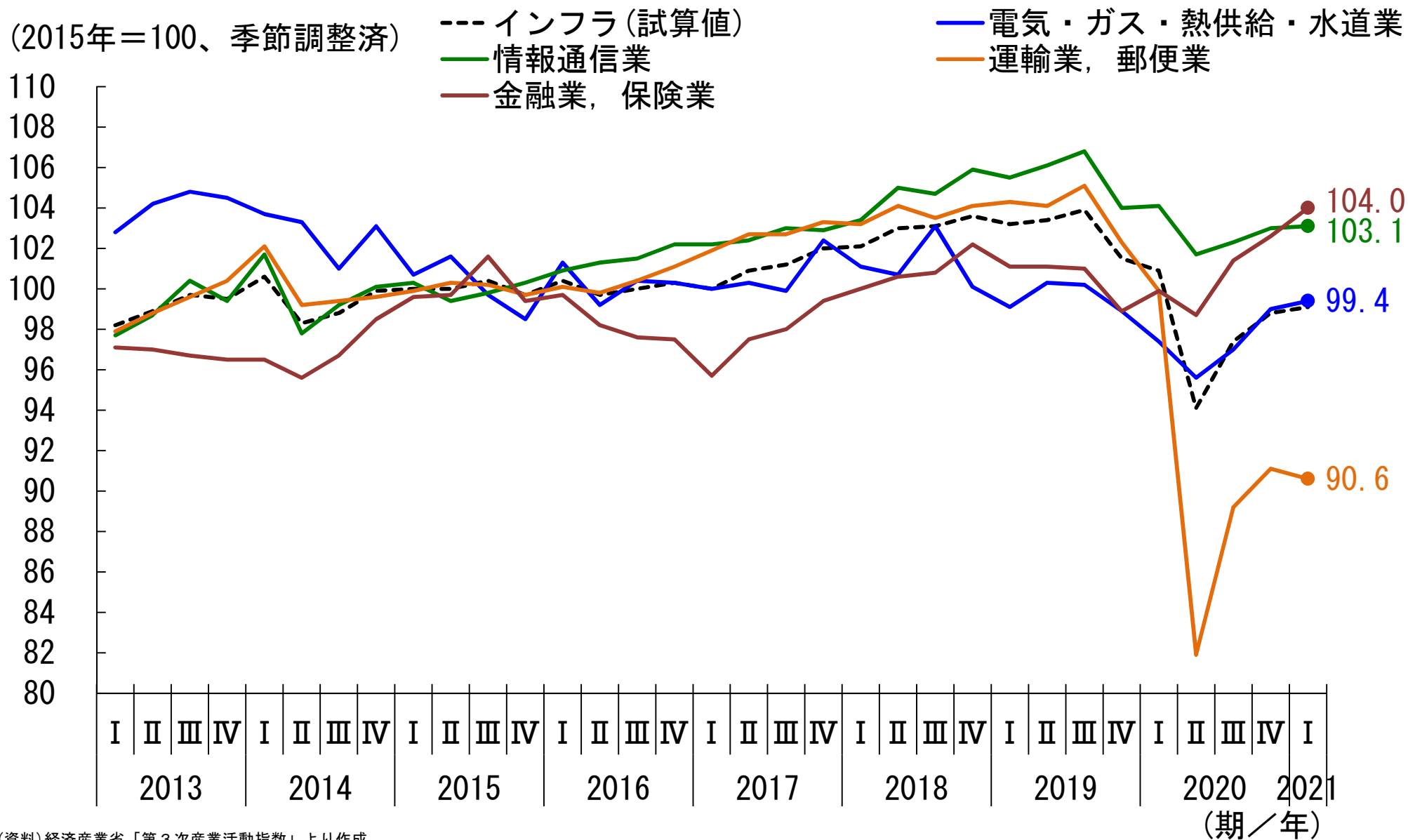
・2021年1-3月期のインフラ型サービス活動指数(試算値)は、運輸業、郵便業が低下したものの、金融業、保険業などが上昇。

(季節調整済、前期比、%、%ポイント)



(資料)経済産業省「第3次産業活動指数」より作成。

業種別にみたインフラ型サービス活動の動向

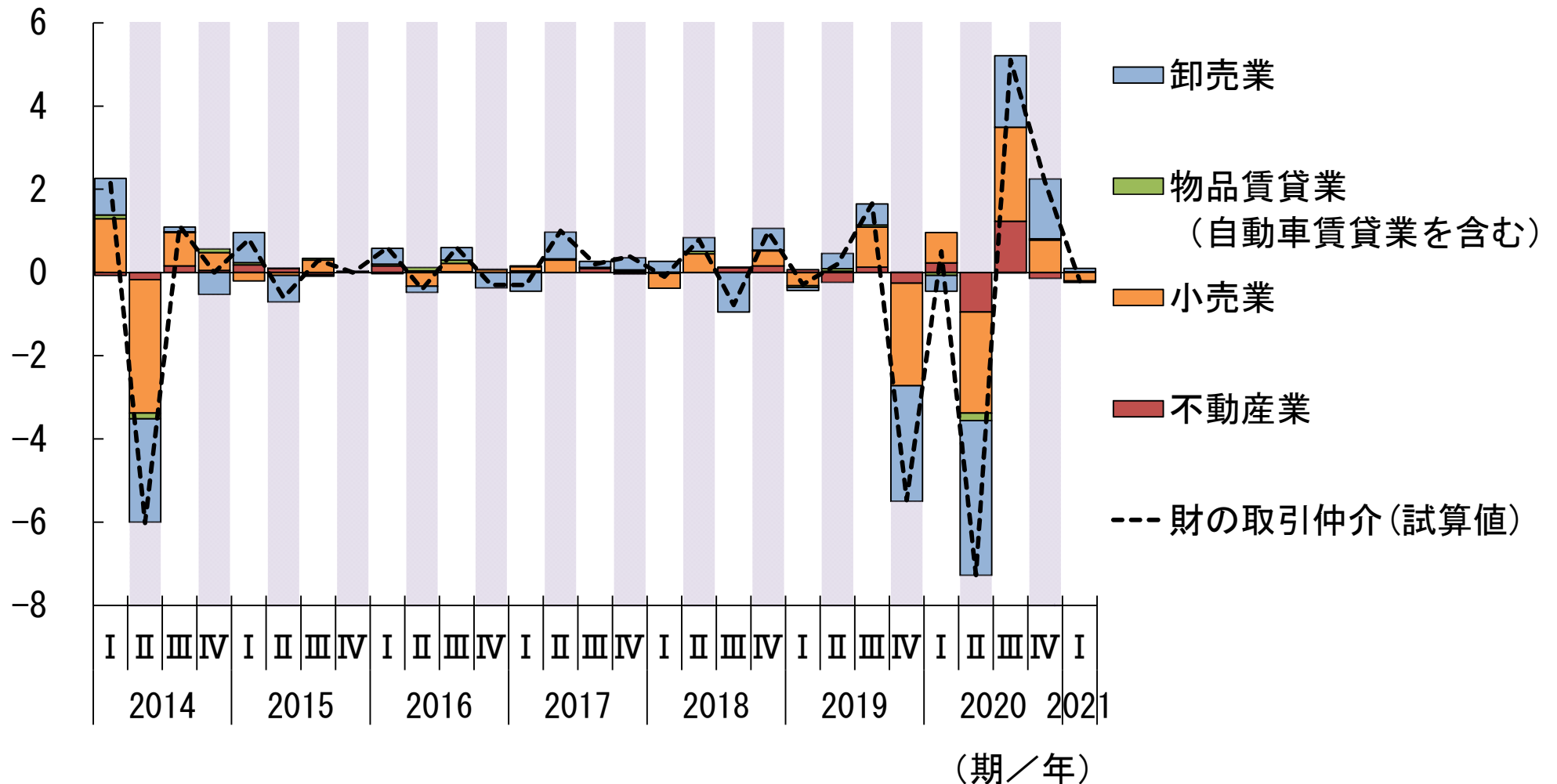


(資料) 経済産業省「第3次産業活動指数」より作成。

財の取引仲介型サービス活動指数(試算値) 業種別の影響度合い

・2021年1-3月期の財の取引仲介型サービス活動指数(試算値)は、卸売業などが上昇したものの、小売業などが低下。

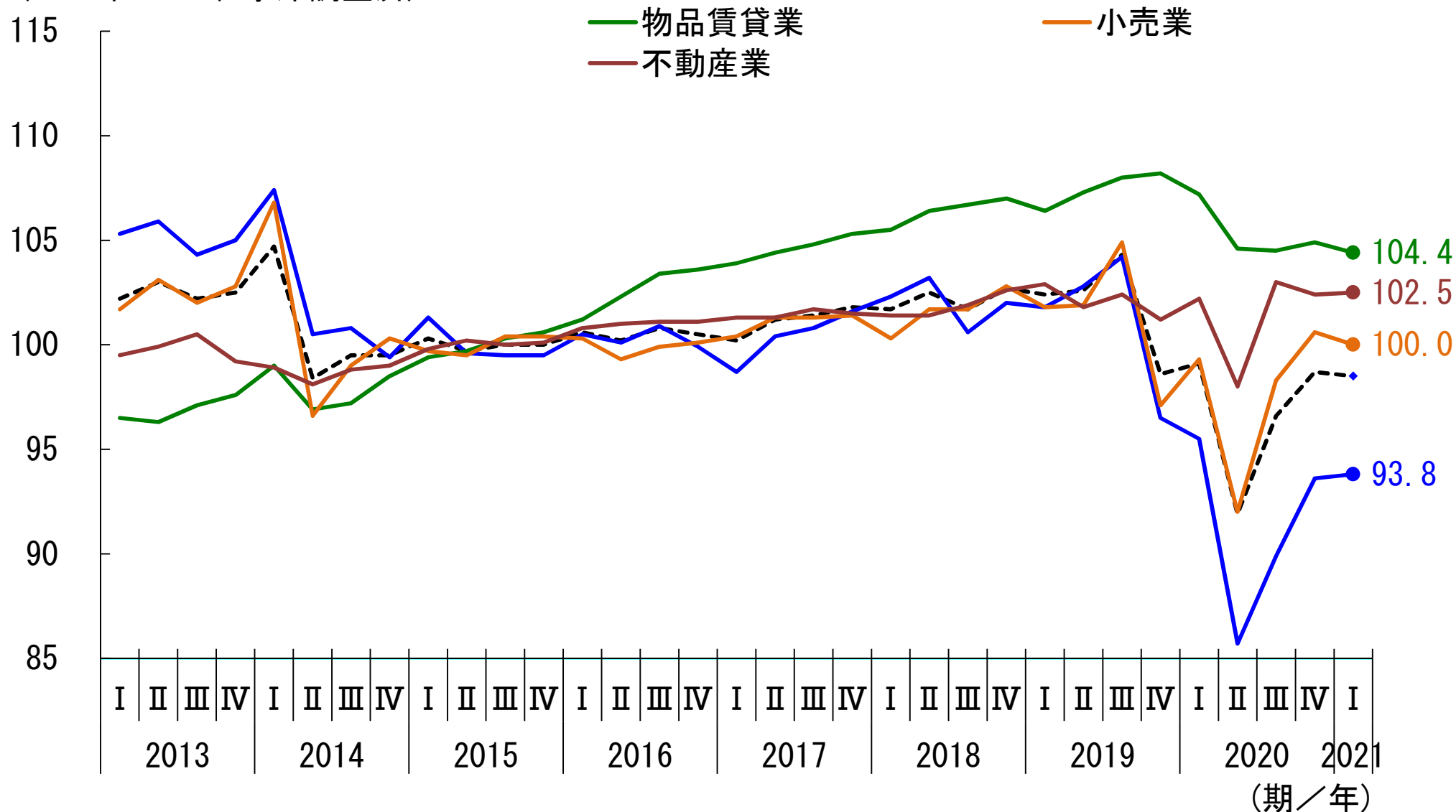
(季節調整済、前期比、%、%ポイント)



(資料)経済産業省「第3次産業活動指数」より作成。

業種別にみた財の取引仲介型サービス活動の動向

(2015年=100、季節調整済)

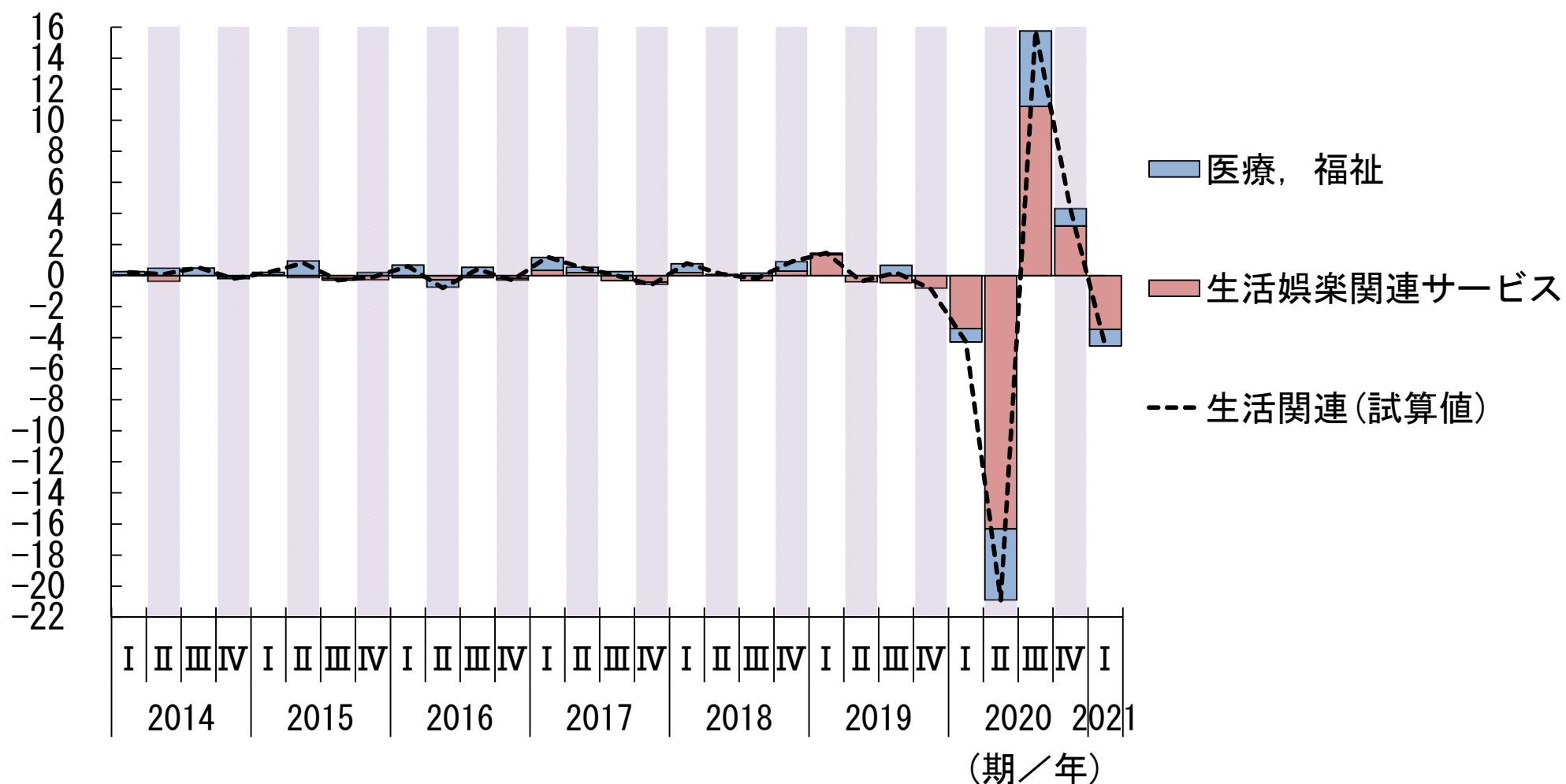


(資料)経済産業省「第3次産業活動指数」より作成。

生活関連型サービス活動指数(試算値) 業種別の影響度合い

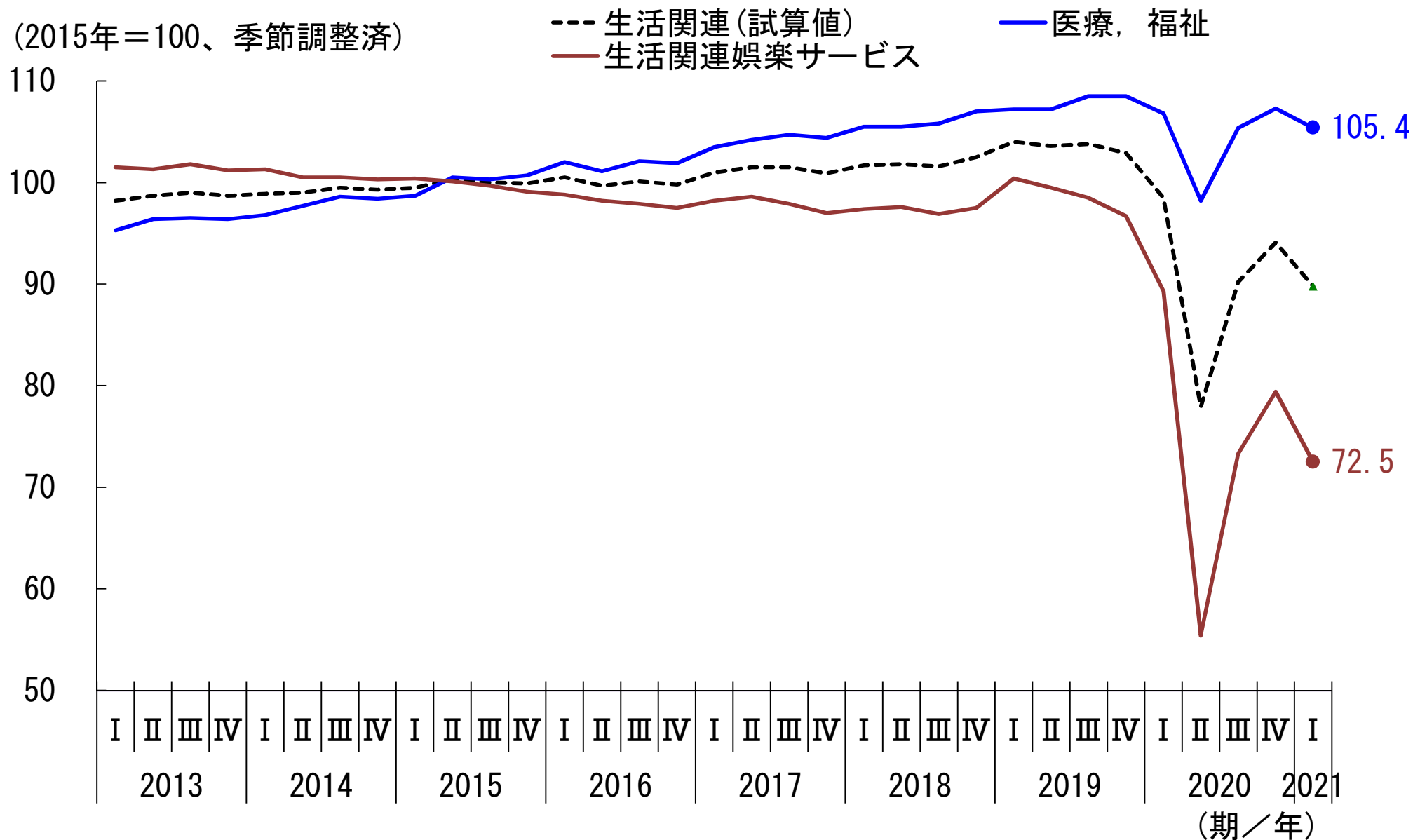
・2021年1-3月期の生活関連型サービス活動指数(試算値)は、医療、福祉、生活娯楽関連サービスともに低下。

(季節調整済、前期比、%、%ポイント)



(資料)経済産業省「第3次産業活動指数」より作成。

業種別にみた生活関連型サービス活動の動向



(資料) 経済産業省「第3次産業活動指数」より作成。

こちら是非御覧下さい！

◎ミニ経済分析：色々なテーマあります



ぜひお手持ちの機器で
QRコードを読み取って
下さい！！

【問合せ先】

ご不明な点はコチラにお問合せください。

経済産業省 大臣官房 調査統計グループ 経済解析室

電話：03-3501-1644（直通）

FAX：03-3501-7775

E-MAIL：qqcebc@meti.go.jp